



第36回全国産業教育フェア佐賀大会

さんぽフェア SAGA 2026

募集要項(全体版)

■ 期日

令和8年10月24日(土)、25日(日)

■ 会場

SAGA アリーナ(佐賀県佐賀市日の出2丁目1-10)

SAGA プラザ(佐賀県佐賀市日の出1丁目21-15)

ミス ウェルビーホール(佐賀市文化会館)(佐賀県佐賀市日の出1丁目21-10)

佐賀女子短期大学附属佐賀女子高等学校(以下「佐賀女子高等学校」)(佐賀県佐賀市本庄町 1263)

1	作品展示	P1
2	展示販売	P6
3	作品・研究発表	P10
4	意見・体験発表	P14
5	第25回全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト	P18
6	第34回全国高等学校ロボット競技大会	P22
7	第1回全国高校生ビジネスアイデアコンクール	P45
8	全国高校生クッキングコンテスト	P54
9	第13回全国高校生介護技術コンテスト	P61



第36回全国産業教育フェア佐賀大会

さしフェア SAGA 2026

「作品展示」募集要項

1 概 要

専門高校等で学ぶ全国の高校生が、実習・課題研究等において製作した作品ならびに、開催県の専門高校及び特別支援学校の実習等での生徒作品や研究成果の展示・実演をする。

2 作 品 数

(1) 全国から募集する作品数は、原則として次の表のとおりとする。

学 科	農業	工業	商業	水産	家庭	看護	情報	福祉	総合	次 期 開催県	合計
作品数	20	18	20	14	15	8	3	3	1	1	103

(2) 作品出展については、原則として、各学科の全国高等学校長協会等に依頼し選定する。

(3) 予定数以上の出展については、実行委員会事務局と相談の上で決定する。

3 日 程

令和8年10月24日(土) 10:30 ~ 16:00

令和8年10月25日(日) 9:30 ~ 14:30

4 会 場

SAGAアリーナ 2階

〒849-0923 佐賀県佐賀市日の出2丁目1-10 TEL 0952-32-4070

5 内 容 等

(1) 作品は原則として、次の範囲で展示できるものとする。

奥 行	幅	高 さ	使用電源
90cm 以内	180cm 以内	200cm 以内	※必要な場合のみ 単相交流 60Hz、100V(200V 不可)、5A 以下

(2) 展示についての注意事項。次のものは禁止とする。

ア 火気及び水の使用が必要なもの。

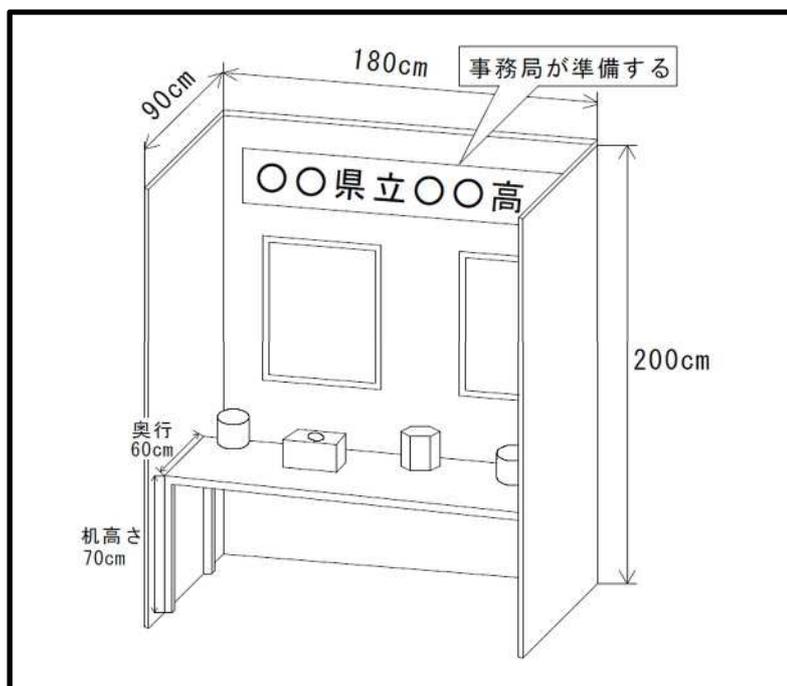
イ 大きな音や強い光を出すものや臭い・ガス・煙を発生するもの。

ウ 倒れる危険性のあるものや、床を傷つけやすいものや重量の重いもの。

エ スポット照明等、特別な照明を必要とするもの。

オ 展示スペース以上の面積を必要とするもの。その他、特別な配慮が必要と考えられるもの。

(3) 展示作品の破損、盗難等については補償しない。



6 作品の輸送、搬入及び搬出

- (1) 作品輸送の詳細については、後日大会HPに掲載する「輸送要項」による。
- (2) 作品搬入の詳細については、申込み受付後、「受付・問合せ担当校」から連絡する。
- (3) 搬入する作品は、原則として梱包のまま保管できるものとする。
- (4) 展示終了後の作品の梱包・搬出は出展者が行う。出展者による梱包・搬出が困難な場合は事前に「受付・問合せ担当校」と相談する。

7 作品の据え付け等

- (1) 作品の据え付け場所は、「受付・問合せ担当校」が決定する。
- (2) 作品の展示は、令和8年10月23日(金)13:00～16:30までの間に行うこと。その際、受付で展示場所・方法等について指示を受ける。
- (3) 作品の据え付けは出展者が行う。総合開会式開始までに出席者による据え付けが困難な場合は、参加申込書(様式1-1)の「展示者」欄の「佐賀県の担当校に委託」を選択し、事前に「受付・問合せ担当校」に相談する。
- (4) 作品についての説明を行う場合は出展者が行う。また、説明にICT機器等を用いる場合は、参加申込書(様式1-1)「その他」の欄に持込み機器を記入する。
- (5) その他、詳細については、事前に「受付・問合せ担当校」に相談する。

8 交通費、宿泊費及び作品輸送費等

- (1) 作品の展示に係る生徒及び引率者の交通費、宿泊費等については、自己負担とする。
なお、宿泊希望者については、後日大会HPに掲載する「宿泊要項」により宿泊先を斡旋する。
- (2) 作品輸送費及び展示・演食用消耗品等の費用は、出展者(参加校)の負担とする。

9 申込方法

- (1) 各都道府県教育委員会・政令指定都市教育委員会は、本要項に基づき、所定の申込書(様式1-1)、作品概要と展示寸法(様式1-2)に必要事項を記入の上、各県の教育委員会を通じて令和8年7月10日(金)までに入力フォームより申し込むこと。その際、展示作品の写真又は詳細図等(データ量は合計で10MB以内)を添付すること。
- (2) 参加生徒の名前、肖像等の個人情報を大会要項等に掲載し公開することがあるので、提出書類の作成に当たっては、本人の了解を得て作成すること。

(3) 入力フォーム



<https://logoform.jp/form/jbBd/1434447>

(4) 受付・問合せ担当校

学校名	所在地	校長 担当者
佐賀県立 鳥栖工業高等学校	〒841-0051 佐賀県鳥栖市元町1918番地 TEL 0942-83-4134 / FAX 0942-81-1019 E-mail:saga2026sakuten@education.saga.jp	校長 吉田 芳克 担当者 徳永 元紀

10 実行委員会事務局

第36回全国産業教育フェア佐賀大会実行委員会事務局本部

(佐賀県教育委員会事務局学校教育課内)

〒840-8570 佐賀県佐賀市城内一丁目1番59号

TEL 0952-25-7228 FAX 0952-25-7286

大会HP <https://sanfair-saga2026.jp/>

※整理番号	
-------	--



第36回全国産業教育フェア佐賀大会
さいごフェア SAGA 2026
 「作品展示」参加申込書

令和8年 月 日

地区名		都道府県名		学科区分	
ふりがな					
学校名					学校
学科名					科
ふりがな					
作品・実演名					
作品寸法	縦		cm	横	
				高さ	
				cm	重量
					kg
説明掲示資料	縦		cm	横	
				数量	枚
展示用機	(縦60×横180×高さ70の長机1台まで)				
搬入方法			持参の場合の日時	月 日 時頃	
展示者	(出展者が来場するのか展示委託をするのかを選択)				
使用電力	必要な場合(100[V] 60[Hz] 5[A]以下)				0 ㌦
その他	「受付・問合せ担当校」への連絡事項(コンセント2口以上使用する場合は概略を記載する)				
担当者 (引率者)	ふりがな				
	所属	立			学校
	ふりがな				
	氏名				
	所在地	〒			
	連絡先	TEL		当日連絡可能な連絡先	
	E-mail				
設営・運営等	作品展示に係わる生徒人数(役割:搬入、据付け、説明等)				引率者
	10月23日		人	(役割:)	
	10月24日		人	(役割:)	
	10月25日		人	(役割:)	

※ 整理番号の欄は、何も記入しないこと。
 ※ 展示スペースに合わせた展示方法(大きさ)とすること。
 ※ マネキン(人体模型)、ICT機器等は、出展校で用意すること。

※整理番号	
-------	--



第36回全国産業教育フェア佐賀大会
さしフェア SAGA 2026
 「作品展示」作品概要と展示寸法

令和8年 月 日

地区名		都道府県名		学科区分	
ふりがな					
学校名					学校
学科名					科
作品名称					
作品概要					
展示図面 (寸法は[cm])	(平面図)		(補足等) 掲示物、配布物のみ (パネルには掲示物、展示台に配布物を配置)		
	(正面図)		(側面図)		
展示・演示 の方法					
その他	「受付・問合せ担当校」への連絡事項				

※ 整理番号の欄は、何も記入しないこと。
 ※ 展示作品の写真又は詳細図等を添付すること。



第36回全国産業教育フェア佐賀大会

さいごう SAGA 2026

「展示販売」募集要項

1 概要

専門高校等で学ぶ全国の高校生が実習等において制作した作品、製品、生産物及び実習取扱商品や地域の特産物等(以下「学校生産物等」という。)を販売する。

2 日程

令和8年10月24日(土) 10:30 ~ 16:00

令和8年10月25日(日) 9:30 ~ 14:30

3 会場

SAGAアリーナ 2階

〒849-0923 佐賀県佐賀市日の出2丁目1-10 TEL 0952-32-4070

4 出品条件

- (1) 販売する学校生産物等の製作費・輸送費は出品校の負担とする。
- (2) 実演しながらの展示販売(調理実習を兼ねた販売・試食等)は、不可とする。
- (3) 常温保存が可能なものとする。
- (4) 期間中を含め賞味期限内のものとする。

5 販売方法及び会計処理等

- (1) 販売は委託販売も可とする。
- (2) 委託販売時は、「受付・問合せ担当校」の生徒が店舗設営や売り上げの工夫を行う。
- (3) 委託販売時の販売希望価格は、1品につき2,000円以内(100円未満は50円または0円単位)とし、総額は1校で100,000円以内に設定する。
- (4) 委託販売時には、完売を目指すために、最終日は販売価格を調整することができる。
 - ア 売れ残りは、原則として開催県に寄付する。
 - なお、売れ残り商品の返送を希望する場合には「受付・問合せ担当校」に問い合わせること。
 - イ 売上金から振入手数料を差し引いた金額を「受付・問合せ担当校」から各出品校の指定口座に振り込む。
 - ウ 学校生産物等の品目、出品校のパネルは、「受付・問合せ担当校」で表示する。
 - エ 品目が重複した場合には、調整することがある。

6 学校生産物等の送付について

- (1) 送付の方法については、申し込み受付後、「受付・問合せ担当校」から連絡をする。
- (2) 送付の際、後日送付する「輸送伝票」に必要事項を記入の上、梱包に添付する。
また「輸送伝票」の写しは指定された日までに「受付・問合せ担当校」に送付する。会場への学校生産物等の到着日時は、令和8年10月23日(金)10:00から14:00での間とする。輸送方法等の詳細については、後日大会HPに掲載する「輸送要項」による。
- (3) 送付に当たっては、学校生産物等の特性や輸送日数を考慮し、到着日時を厳守する。
なお、やむを得ない事情等で到着日時が前後する場合は、事前に「受付・問合せ担当校」と協議する。
- (4) 輸送に特別な配慮が必要なものについては、事前に「受付・問合せ担当校」と協議のうえ、申込書(様式2-1)の備考欄にその旨を記入する。
- (5) 学校生産物等の破損、盗難等については補償しない。

7 申込方法

- (1) 各都道府県教育委員会・政令指定都市教育委員会は、本要項に基づき、所定の申込書(様式2-1)、説明書(様式2-2)に必要事項を記入の上、令和8年7月10日(金)までにLOGOフォームで申し込むこと。その際、展示販売の写真又は詳細図等(データ量は合計で10MB以内)を添付すること。
- (2) 参加生徒の名前、肖像等の個人情報を大会要項等に掲載し公開することがあるので、提出書類の作成に当たっては、本人の了解を得て作成すること。
- (3) 入力フォーム



<https://logoform.jp/form/jbBd/1434958>

(4)受付・問合せ担当校

学校名	所在地	校長 担当者
佐賀県立 鳥栖工業高等学校	〒841-0051 佐賀県鳥栖市元町1918番地 TEL 0942-83-4134 / FAX 0942-81-1019 E-mail: saga2026tenhan@education.saga.jp	校長 吉田 芳克 担当者 徳永 元紀

8 実行委員会事務局

第36回全国産業教育フェア佐賀大会実行委員会事務局本部
(佐賀県教育委員会事務局学校教育課内) 担当 島内 雅弘
〒840-8570 佐賀県佐賀市城内一丁目1番59号
TEL 0952-25-7228 FAX 0952-25-7286
大会HP <https://sanfair-saga2026.jp/>



第36回全国産業教育フェア佐賀大会
フェア SAGA 2026
 「展示販売」申込書

令和8年 月 日

地区名		都道府県名		学科区分		
ふりがな						
学校名				学校	科	
所在地	〒					
	TEL					
ふりがな						
担当者						
連絡先	当日連絡可能な連絡先			E-mail		
No.	品名	数量	単位(箱・袋等)	希望単価	金額(数量×単価)	備考
1					¥0	
2					¥0	
3					¥0	
4					¥0	
5					¥0	
6					¥0	
7					¥0	
合計		0			¥0	
振込口座	金融機関					
	預金種目					
	口座番号					
	フリガナ 口座名義					

- ※ 整理番号の欄は、何も記入しないこと。
- ※ できるだけ原価・特価での提供とすること。
- ※ 様式2-1は、口座情報を含むため、パスワードをかけるなどして、十分なセキュリティ対策をとること。

※整理番号	
-------	--



第36全国産業教育フェア佐賀大会
さんぎふア SAGA 2026
 「展示販売」説明書

令和8年 月 日

地 区 名		都道府県名		学科区分	
ふ り が な					
学 校 名					学校
学 科 名					科
ふ り が な					
品 名				申込書(様式2-1) に記載の品名No.	
説 明					

販売希望価格調査票

学 校 名				学校	科
品 名			※整理番号		
価 格	1	()	につき		円

- ※ 整理番号欄は何も記入しないこと。
- ※ 1品につき1枚としてください。
- ※ 説明書の原稿についてはPOP広告等に利用するので丁寧に記入してください。
- ※ 下段の価格欄の()内は、単位(箱、個、缶、瓶、本等)を記入してください。



第36回全国産業教育フェア佐賀大会 さいごう SAGA 2026

「作品・研究発表」募集要項

1 概要

全国の専門高校等で学ぶ高校生が、学習や実験・実習等で製作した作品、研究の成果等について発表する。

2 発表数

(1) 全国:9発表

全国の農業・工業・商業・水産・家庭・看護・情報・福祉・総合に関する学科から各1発表を行う。

(2) 開催県:1発表

3 日程

令和8年10月25日(日) 9:30 ~ 12:30(予定)

4 会場

ミズ ウェルビーホール(佐賀市文化会館) イベントホール

〒849-0923 佐賀県佐賀市日の出1丁目21-10 TEL0952-32-3000

5 内容

(1) 発表時間は1発表につき12分以内とし、別に準備・整理時間を3分以内とする。

(2) 「受付・問合せ担当校」が用意する発表用の機械・器具(様式3-2参照)を使用してもよい。

なお、これら以外の機械・器具及び接続ケーブルについては発表者が用意すること。

(3) 発表作品の説明掲示資料(パネル等)について

ア 発表作品に関する説明資料を掲示するついで(幅 900mm×高 2,100mm)は発表各校につき1枚を「受付・問合せ担当校」が用意する。

イ 発表者は、発表作品に関する説明掲示資料を、上記ついでに掲示できるサイズで作成する。(作成費用は、発表者負担とする。)

ウ 説明掲示資料の使用有無については、視聴覚機器等申込書(様式3-2)に記入する。

エ 説明掲示資料は会場内に展示する。その展示場は「受付・問合せ担当校」で指定する。

オ 説明掲示資料の輸送・搬入については、後日「受付・問合せ担当校」から発表校に連絡する。

(4) 動画についてはパソコンで操作すること。

6 作品の受付

(1) 作品の持込みの有無については、視聴覚機器等申込書(様式3-2)に記入する。

(2) 作品の輸送・搬入については、後日「受付・問合せ担当校」から発表校に連絡する。

7 リハーサル及び打合せ

(1) リハーサルは、以下の日時の中で10分間行うことができる。

令和8年10月24日(土)16:30~18:30 (予定)

(2) リハーサル希望の有無については、視聴覚機器等申込書(様式3-2)に記入すること。

(3) 打合せ及びリハーサルの日時は、後日「受付・問合せ担当校」から発表校に連絡する。

8 発表会場でのセッティング及び撤収・梱包等

発表会場でのセッティング及び発表終了後の撤収・梱包等については、発表校が行う。

9 交通費・宿泊費及び作品輸送費等

(1) 作品・研究発表に係る生徒及び引率者の交通費・宿泊費等については、自己負担とする。なお、宿泊希望者

- については、後日大会HP に掲載する「宿泊要項」により宿泊先を斡旋する。
 (2) 作品及び説明掲示資料の輸送費及び発表用消耗品等の費用は、発表校の負担とする。

10 表彰

発表者には奨励賞を授与する。

11 申込方法

- (1) 各都道府県教育委員会・政令指定都市教育委員会は、本要項に基づき、所定の申込書(様式3-1、様式3-2)に必要事項を記入の上、令和8年7月17日(金)までに下記フォーム①で申し込むこと。その際、大会要項等に掲載するため、発表者又は作品等の写真各1枚(データ量は合計で10MB以内)を添付すること。
 ※上記期限までに発表校が決定していない場合は、事前に「受付・問合せ担当校」へ連絡すること。
- (2) 発表校は、発表原稿を令和8年8月21日(金)までに下記フォーム②で送付すること。やむを得ない事由により申込み後に変更が出た場合は、「受付・問合せ担当校」へ速やかに連絡すること。
- (3) 提出書類の作成に当たっては、参加生徒の氏名、肖像等の個人情報を大会要項等に掲載し公開することがあるので、本人の了解を得ること。

(4) 入力フォーム

- ① 申込書：令和8年7月17日(金)〆切 (様式3-1、様式3-2)
<https://logoform.jp/form/jbBd/1434978>



- ② 発表原稿：令和8年8月21日(金)〆切
<https://logoform.jp/form/jbBd/1438879>



(5) 受付・問合せ担当校

学校名	所在地	担当者
佐賀県立 唐津商業高等学校	〒847-0064 佐賀県唐津市元石町235-2 TEL:0955-72-7196 / FAX:0955-70-1024 E-mail:saga2026saku-ken@education.saga.jp	校長 江口 賢久 担当者 相川 浩孝

10 実行委員会事務局

第36回全国産業教育フェア佐賀大会実行委員会事務局本部
 (佐賀県教育委員会事務局学校教育課内)
 〒840-8570 佐賀県佐賀市城内一丁目1番59号
 TEL 0952-25-7228 FAX 0952-25-7286
 大会HP <https://sanfair-saga2026.jp/>

第36回全国産業教育フェア佐賀大会



「作品・研究発表」申込書

令和8年 月 日

地区名		都道府県名		学科区分		
ふりがな						
学校名	立		学校		科	
発表者	No.	ふりがな 名前	学年	No.	(代表者をNo. 1に記入)	学年
	1			6		
	2			7		
	3			8		
	4			9		
	5			10		
ふりがな						
発表題目						
発表要旨	(大会要項に掲載のため、200字～300字程度にまとめること。)					
担当者 (引率者)	ふりがな					
	所属					
	ふりがな					
	氏名					
	所在地					
	連絡先	TEL			当日連絡可能な連絡先	
	FAX					
	E-mail					

※ 整理番号の欄は、何も記入しないこと。

※整理番号	
-------	--

第 36 回 全国産業教育フェア佐賀大会



「作品・研究発表」視聴覚機器等申込書

令和 8 年 月 日

地 区 名		都道府県名		学科区分		
ふ り が な						
学 校 名		立			学校	
学 科 名					科	
ふ り が な						
担 当 者						
使用を希望する機材 (※※)	No.	機材		設置数	希望数	備考
	1	ワイヤレスマイク		2		
	2	プロジェクター		1		
	3	レーザーポインター		1		
発表校が持参する機材	No.	機材			持参数	備考
	1					
	2					
	3					
	4					
リハーサル希望	※リハーサル可能時間 10月24日 (土) 16:30~18:30 (予定)					
	(希望する時間帯があれば記入する)					
説明掲示資料	説明掲示資料 (パネル等) の使用					
	縦	cm	横	cm	数量	枚
	説明掲示資料 (パネル等) の搬入方法					
展示用作品	展示用作品の持込み					
	縦	cm	横	cm	高さ	cm
	展示用作品等の搬入方法					
その他	「受付・問合せ担当校」への連絡事項					

※ 整理番号欄は事務局で使用
 ※ ワイヤレスマイク、プロジェクター、レーザーポインターのみ準備します。
 パソコン等その他必要なものについては、ご持参ください。



第36回全国産業教育フェア佐賀大会 さんじゅあ SAGA 2026

「意見・体験発表」募集要項

1 概要

全国の専門高校等で学ぶ高校生が、日頃の学習で体験したことや学んだことについて意見を発表する。

2 発表数

(1) 全国:9発表

全国の農業・工業・商業・水産・家庭・看護・情報・福祉・総合に関する学科から各1発表を行う。

(2) 開催県:1発表

3 日程

令和8年10月24日(土) 11:00 ~ 13:00

4 会場

ミズ ウェルビーホール(佐賀市文化会館) イベントホール

〒849-0923 佐賀県佐賀市日の出1丁目21-10 TEL 0952-32-3000

5 内容

(1) 発表時間は1発表につき7分以内とし、別に準備・整理時間を3分以内とする。

(2) 発表内容は、産業教育に関わりの深いものとする。

(3) 「受付・問合せ担当校」が用意する発表用の機械・器具(様式4-2参照)を使用してもよい。

なお、これら以外の機械・器具及び接続ケーブルについては、発表者が用意すること。

(4) 動画については、パソコンで操作すること。

6 リハーサル及び打合せ

(1) リハーサルは、以下の日時の中で10分間行うことができる。

令和8年10月23日(金)14:00 ~ 16:00(予定)

(2) リハーサル希望の有無については、視聴覚機器等申込書(様式4-2)に記入すること。

(3) 打合せ及びリハーサル日時は、後日「受付・問合せ担当校」から発表校に連絡する。

7 発表会場でのセッティング及び撤収・梱包等

発表会場でのセッティング及び発表終了後の撤収・梱包等については、発表校が行う。

8 交通費・宿泊費等

発表する生徒及び引率者の交通費、宿泊費等については、自己負担とする。なお、宿泊希望者については、後日大会HPに掲載する「宿泊等のご案内」により宿泊先を斡旋する。

9 表彰

発表者には奨励賞を授与する。

10 申込方法

(1) 各都道府県教育委員会・政令指定都市教育委員会は、本要項に基づき、所定の申込書(様式4-1、様式4-

2)に必要事項を記入の上、令和8年7月17日(金)までに下記フォーム①で申し込むこと。その際、大会要項等に掲載するため、発表者又は作品等の写真各1枚(データ量は合計で10MB以内)を添付すること。

※上記期限までに発表校が決定していない場合は、事前に「受付・問合せ担当校」へ連絡すること。

(2) 発表校は、発表原稿を令和8年8月21日(金)までに下記フォーム②で送付すること。やむを得ない事由に

より申込み後に変更が出た場合は、「受付・問合せ担当校」へ速やかに連絡すること。

(3) 提出書類の作成に当たっては、参加生徒の氏名、肖像等の個人情報を大会要項等に掲載し公開することがあるので、本人の了解を得ること。

(4) 入力フォーム

① 申込書：令和8年7月17日(金)〆切（様式4-1、様式4-2）

<https://logoform.jp/form/jbBd/1434989>



② 発表原稿：令和8年8月21日(金)〆切

<https://logoform.jp/form/jbBd/1438908>



(5) 受付・問合せ担当校

学校名	所在地	担当者
佐賀県立 唐津商業高等学校	〒847-0064 佐賀県唐津市元石町235-2 TEL:0955-72-7196 / FAX:0955-70-1024 E-mail:saga2026ike-tai@education.saga.jp	校長 江口 賢久 担当者 相川 浩孝

11 実行委員会事務局

第36回全国産業教育フェア佐賀大会実行委員会事務局本部

(佐賀県教育委員会事務局学校教育課内)

〒840-8570 佐賀県佐賀市城内一丁目1番59号

TEL 0952-25-7228 FAX 0952-25-7286

大会HP <https://sanfair-saga2026.jp/>

第36回全国産業教育フェア佐賀大会



「意見・体験発表」申込書

令和8年 月 日

地区名		都道府県名		学科区分		
ふりがな						
学校名	立	学校		科		
発表者	No.	ふりがな 名前	学年	No.	(代表者をNo. 1に記入)	学年
	1			6		
	2			7		
	3			8		
	4			9		
	5			10		
ふりがな						
発表題目						
発表要旨	(大会要項に掲載のため、200字～300字程度にまとめること。)					
担当者 (引率者)	ふりがな					
	所属					
	ふりがな					
	氏名					
	所在地					
	連絡先	TEL			当日連絡可能な連絡先	
FAX						
E-mail						

※ 整理番号の欄は、何も記入しないこと。

第 36 回 全国 産業 教育 フェア 佐賀 大会



「意見・体験発表」視聴覚機器等申込書

令和 8 年 月 日

地 区 名		都道府県名		学科区分	
ふ り が な					
学 校 名	立				学校
学 科 名					科
ふ り が な					
担 当 者					
使用を希望 する機材 (※※)	No.	機材	設置数	希望数	備考
	1	ワイヤレスマイク	2		
	2	プロジェクター	1		
	3	レーザーポインター	1		
発表校が持参 する機材	No.	機材	持参数	備考	
	1				
	2				
	3				
	4				
リハーサル 希望	※リハーサル可能時間 10月23日（金）14:00～16:00（予定）				
	（希望する時間帯があれば記入する）				
その他	「受付・問合せ担当校」への連絡事項				

※ 整理番号欄は事務局で使用
 ※ ワイヤレスマイク、プロジェクター、レーザーポインターのみ準備します。
 パソコン等その他必要なものについては、ご持参ください。



第36回全国産業教育フェア佐賀大会 さしフェア SAGA 2026

「第25回全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト」募集要項

1 趣 旨

専門高校等で学ぶ全国の高校生が、フラワーデザインに関する知識と技能を活用し、自らの考えを表現する力や創造性・芸術性を互いに高め合い、新たな未来を切り拓く職業人としての資質を育むことを目的とする。

2 出場資格

全国の専門高校等に学ぶ生徒で各都道府県2名以内とする。ただし、北海道は3名以内(北北海道地区1名、東北北海道地区1名、南北海道地区1名)、開催県である佐賀県は5名以内とする。

3 日 程

令和8年10月24日(土) 9:30 ~ 15:30 総合開会式・競技説明・コンテスト・閉会式
令和8年10月25日(日) 9:30 ~ 14:30 作品展示

4 会 場

SAGAアリーナ サブアリーナ1F 南側
〒849-0923 佐賀県佐賀市日の出2丁目1-10 TEL:0952-32-4070

5 内 容 等

別紙「第25回全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト実施規則」による。

6 交通費及び宿泊費

出場者及び引率者の交通費、宿泊費等については、事務局では負担しない。
なお、宿泊希望者については、後日大会HPに掲載する「宿泊要項」により宿泊先を斡旋する。

7 申込方法

- (1) 各都道府県教育委員会・政令指定都市教育委員会は、本要項に基づき、下記の入力フォームにアクセスし、必要事項を入力して、令和8年8月17日(月)までに申し込むこと。必要事項については、参加申込書(様式5)を参考にすること。
- (2) 入力フォームからの申し込みが困難な場合に限り、所定の参加申込書(様式5)に必要事項を記入の上、令和8年8月17日(月)までに「受付・問合せ担当校」へ電子メールで申し込むこと。
- (3) 参加申込書(様式5)は、大会HPからダウンロードして使用すること。
- (4) 受付後に、受付完了メールを送付する。申込み手続き後1週間を経過しても受付完了メールが送信されない場合は、「受付・問合せ担当校」に確認すること。
- (5) 実施規則に関する問合せは、令和8年9月18日(金)までに、参加校から「受付・問合せ担当校」へ電子メールにより行うこと。回答は大会HPへ掲載する。
- (6) 提出書類の作成に当たっては、参加生徒の名前、肖像等の個人情報を大会要項等に掲載し公開することがあるので、本人の了解を得て作成すること。

(7) 受付・問合せ担当校

学校名	所在地	担当者
佐賀県立 佐賀農業高等学校	〒849-1112 佐賀県杵島郡白石町大字福田 1660 TEL:0952-84-2611 FAX:0952-71-5009 E-mail:saga2026flower@education.saga.jp	校長 木村 紀元 担当者 江原 高志 大串 佳代

8 入力フォーム

<https://logoform.jp/form/jbBd/1434993>



9 実行委員会事務局

第36回全国産業教育フェア佐賀大会実行委員会事務局本部
(佐賀県教育委員会事務局学校教育課内)

〒840-8570 佐賀県佐賀市城内一丁目1番59号

TEL 0952-25-7228 FAX 0952-25-7286

大会HP <https://sanfair-saga2026.jp/>



第36回全国産業教育フェア佐賀大会 さしフェア SAGA 2026

「第25回全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト」実施規則

1 制作規定

- (1) 支給された花材・資材・花器を使用し、テーマに基づいて作品を制作する。
- (2) テーマは、大会1ヶ月前を目処に大会HPで発表する。
- (3) デザインは自由とし、テーマに合う作品とする。
- (4) 制作した作品についての説明文を、競技時間内に指定用紙に記入する。
- (5) 支給された花材・資材・花器のすべてを使用する必要はない。
- (6) 作品のサイズ規定は、大会1ヶ月前を目処に大会HPで発表する。

2 花材・資材・花器及び用具

- (1) 花材・資材・花器は、大会1ヶ月前を目処に大会HPで発表する。
ただし、花材については、大会当日、多少変更の可能性はある。
- (2) 花材・資材・花器、ゴミ袋、花バケツは担当校で準備する。
- (3) 競技会場へ持ち込むことができる用具は、次のとおりとする。
なお、同種の用具は、用途別や予備のため複数を持ち込むことができる。
ア 出場者が必ず持参するもの
ハサミ、吸水性スポンジ用カッター類、シート(床用)、布ガムテープ(養生テープ)、雑巾、
筆記用具
イ 出場者が必要と判断すれば持ち込むことができる用具
ナイフ、ステープラー、メジャー、シート(机用)、裸ワイヤ(長さ・太さ自由)、
ワイヤ用カッター類、フローラルテープ(色・幅自由)、腕時計(通信機能を有さないもの)、エプロン、
ハンドタオル類、絆創膏、用具運搬用バッグ類、両面テープ(幅自由)
- (4) 競技会場へ持ち込むことができない用具は、次のとおりとする。
通信機器、電動工具類

3 競技時間

- (1) 制作時間は60分以内とする。(説明文の記入、後片付けを含む)
- (2) 残り時間について、30分前、10分前、5分前、1分前を口頭で知らせる。

4 競技規則概要

- (1) 競技開始後は、原則として花材・資材の交換、補充を行わない。
- (2) 競技中は、用具の貸し借り・譲渡、アラーム類の使用、私語を禁止する。
- (3) ワイヤは、補強・セキュアリング・装飾に使用してもかまわない。
ただし、事前にフローラルテープを巻いた物・ワイヤを加工した物は競技会場に持ち込むことはできない。
- (4) 片付けは、競技時間内に行う。
- (5) 使用しなかった支給花材・資材は、元あった場所に戻しておく。
- (6) 作品制作が完了した場合であっても、競技終了までその場を離れてはいけない。
- (7) 非常事態が生じたときは、その場で挙手により合図し、係員の指示に従う。
- (8) 次の場合は、失格とする。
ア 支給された花材・資材及び持込が認められた持参用具以外のものが作品に含まれる場合。
イ 他人の作品に何らかの損害を与えた場合。
ウ 競技時間終了後に作品制作を行った場合。
エ その他、競技規則に違反したとみなされる場合。

5 審査方法

フラワーデザインに関する専門的な知識・技術を有する有識者等5名により、作品内容及び作品制作の技術・態度について総合的に審査する。

6 表彰

金賞1作品、銀賞2作品、銅賞2作品、審査員奨励賞5作品とする。



さしこぶア SAGA 2026

「第 25 回全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト」参加申込書

地区名	北海道（北北海道・東北海道・南北海道） 東北 関東 東海 北信越 近畿 中国 四国 九州 (○で囲む)		都道府県名	
ふりがな				
学校名	高等学校			
ふりがな				
所在地	〒			
TEL				
FAX				
ふりがな				
担当者 (引率者)	E-mail			
出場者	学科		学 年	年
	ふりがな			
	名 前			

注(1) 参加申込書は、各所属で必要に応じて使用すること。

注(2) 申込みは、入力フォームより行うこと。

入力フォーム: <https://logoform.jp/form/jbBd/1434993>





「第34回全国高等学校ロボット競技大会佐賀大会」

募集要項

1 趣旨

全国の専門高校等で学ぶ生徒が、ロボット競技大会への参加を目指し、仲間と協力しながら自由な発想で工夫を凝らし、創造力を発揮してロボットを製作する。また、その取組の過程をとおして、ものづくりの技術・技能を習得し、次世代を担う技術者としての資質を向上させる。

2 出場資格

工業に関する学科に在籍する高校生で構成されたチームとする。ただし、その他の学科からの参加申込みがあれば別途検討する。なお、チームは学校単位で構成し、1チーム5名以内、同一校からの出場は2チーム以内とする。

3 日程

令和8年10月24日(土) 8:15~16:45 受付、招集、公式練習、開会式、競技者会議
令和8年10月25日(日) 8:50~16:00 招集、競技、競技者交流会、閉会式

4 会場

SAGAサンライズパーク SAGAプラザ 大競技場
〒849-0923 佐賀市日の出1丁目21-15 TEL 0952-32-2131

5 競技内容

「第34回全国高等学校ロボット競技大会佐賀大会実施規則」による。(別紙)

6 ロボットの輸送、搬入及び搬出

- (1) これらについては、大会HPに掲載する。
- (2) 業者等に委託して輸送する場合は、ロボットを梱包すること。
- (3) 搬入するロボットは、原則として梱包のまま保管できるものとする。
- (4) 競技大会終了後のロボットの梱包及び搬出は出場チームが行うこと。
- (5) プラカードは出場チームが準備すること。なお寸法については大会HPに掲載する。

7 交通費、宿泊費及び輸送費等

- (1) 競技に係る生徒及び引率者の交通費、宿泊費は、出場チームの負担とする。
なお、宿泊希望者については、大会HPに掲載する「宿泊要項」により宿泊先を斡旋する。
- (2) ロボットの製作費及び輸送費等は、出場チームの負担とする。
- (3) 競技用に係る消耗品等の費用は、出場チームの負担とする。

8 申込方法

- (1) 各都道府県教育委員会・政令指定都市教育委員会は本要項に基づき、それぞれの入力フォームにアクセスし、必要事項を記入して申し込む。申込書(様式6-1、様式6-2)は大会HPからダウンロードし各入力フォームに添付すること。

ア 仮申込みは、令和 8 年 6 月 1 日(月)から 6 月 5 日(金)の期間中に、下記の入力フォームにアクセスし必要事項を記入の上、様式6-1を添付すること。

<仮申込受付フォーム>



<https://logoform.jp/form/jbBd/1434995>

イ 本申込みは、令和 8 年 8 月 31 日(月)から 9 月 4 日(金)の期間中に、下記の入力フォームにアクセスし必要事項を記入の上、様式6-2により一括して申し込むこと。

<本申込受付フォーム>



<https://logoform.jp/form/jbBd/1438951>

ウ 仮申込チーム数が 96 チームを超えた場合、各都道府県の本申込みを制限する。その場合、本申込みの期間前に、調整後の申込台数を関係各教育委員会宛に連絡する。

(2) 提出書類の作成に当たっては、参加生徒の氏名、肖像等の個人情報を大会要項等に掲載し公開することがあるので、本人の了解を得ること。

(3) 問合せ担当校

学 校 名	所 在 地	校 長 担 当 者
佐賀県立 佐賀工業高等学校	〒840-0841 佐賀県佐賀市緑小路 1 番 1 号 TEL 0952-24-4356 FAX 0952-25-7043 E-mail:saga2026robot@education.saga.jp	校 長 岩本 憲政 担当者 尊田 泰信

9 問合せ方法

問合せは、下記入力フォームにより行う。回答は後日Q&Aとして大会HPで公開する。

<問合わせフォーム>



<https://forms.office.com/r/BskH2kTGhR>

10 実行委員会事務局

第 36 回全国産業教育フェア佐賀大会実行委員会事務局本部

(佐賀県教育委員会事務局学校教育課内)

〒840-8570 佐賀市城内一丁目 1 番 59 号

TEL 0952-25-7228 FAX 0952-25-7286

大会HP <https://sanfair-saga2026.jp/>



さんフェア SAGA 2026



さんフェア SAGA2026
マスコットキャラクター
あさぎちゃん

第 36 回全国産業教育フェア佐賀大会

さんフェア佐賀大会 2026

第 34 回全国高等学校ロボット競技大会佐賀大会

集え！未来の技術者

～極めた技術でバルーンより高く～

実施規則



1 目的

ロボット競技大会をとおして、生徒が主体的に課題解決の方法を考え、構想・設計・製作をすることにより知識・技術を習得する。また、諸課題を発見し、実践的・体験的活動により失敗と改善を重ねるプロセスを経験することで、思考力・判断力・表現力を育む。さらに、チームでの協働により協調性や学びに向かう力、豊かな人間性を育成することを目的とする。

2 競技内容

2-1 イメージ

佐賀県は広大な平野が広がり農業が盛んで、秋には佐賀インターナショナルバルーンフェスタが佐賀平野を舞台に行われている。また、県の南部は有明海、北部は玄界灘という自然豊かな海に接しており、それぞれの海ではムツゴロウや海苔、イカなどの海産物が特に有名である。

自然豊かで穏やかな土地は、古くから文化が栄え、その証として現在、吉野ヶ里遺跡が発掘復元されている。県の西部では、窯業が盛んに行われ、有田焼などの伝統技術と文化が受け継がれている。

こうした佐賀特有の産物を獲得し、指定の箇所に設置することを主に競う内容である。

2-2 競技概要

競技時間は 3 分間。競技は、操縦型ロボットと自立型ロボットによって、各種アイテムを指定された箇所に設置し、その得点を競うものである。

2-2-1 操縦型ロボットについて

(ア) ロボットはマーカー（アイテム A：卓球ボール）を 3 個保持して、天山エリアのスタート位置から出発する。

(イ) 有田陶器市にある有田焼（アイテム B：皿）を回収し、主祭殿へ設置する。

(ウ) 佐賀平野エリアの農産物市から、おにぎり（アイテム C：軟式野球ボール）と玉ねぎ（アイテム D：硬式テニスボール）を回収する。また、海産物市からムツゴロウ（アイテム E：シャトル）を回収し、これらのアイテムを主祭殿の有田焼の上に設置する。

(エ) 海産物市にいるイカ（アイテム F：ペットボトル）を回収し、呼子朝市エリアのイカ干し機の



フックに吊り下げる。

(オ)天山エリアからマーカーをターゲット内(アイテムH: コンテナ)に投入する。

2-2-2 自立型ロボットについて

(ア)ロボットは、吉野ヶ里遺跡エリアのスタート位置から出発し、有明海沿岸道路を通過する。海苔加工場の海苔(アイテムG: アクリル板)を回収し、主祭殿の1段目に設置する。

(イ)海苔を設置した後はスタート位置へ戻る。

2-2-3 競技の留意事項

(ア)操縦型ロボットはスタート時点でマーカーを3個保持しなければならない。また、マーカーを1個以上、保持していなければ、他の得点対象のアイテムに触れることはできない。(ロボットがマーカーを偶発的に落下させた場合の救済措置)

(イ)アイテムの配置場所、回収エリア、設置箇所、設置エリアは以下のとおりである。

	アイテム	配置箇所 (競技準備)	回収エリア (ロボット接地面)	設置箇所	設置エリア (ロボット接地面)
操縦型	有田焼	有田陶器市	天山エリア	主祭殿2~4段目	天山エリア
	おにぎり	農産物市	佐賀平野 エリア	主祭殿2段目の有田焼の上	
	玉ねぎ			主祭殿3段目の有田焼の上	
	ムツゴロウ	海産物市		主祭殿4段目の有田焼の上	
	イカ		呼子朝市エリア	イカ干し機のフック	呼子朝市エリア
	マーカー	ロボット内		ターゲット内	天山エリア
自立型	海苔	海苔加工場	海苔加工場 エリア	主祭殿1段目	吉野ヶ里 遺跡エリア

(ウ)ロボットはアイテム2種類を保持した状態で、エリア間を移動することができない。ただし、マーカーは対象外とする。

(エ)主祭殿の2段目~4段目の段上には、有田焼を3枚まで設置できる。

(オ)イカ干し機にイカを吊り下げるときに、イカ干し機を掴む、固定するなどの行為はしてもよい。また、呼子朝市エリア内に限り、イカ干し機を移動することもできる。ただし、競技運営に影響を及ぼすような損傷を与える行為をしてはいけない。

(カ)イカ干し機の上にはイカのオブジェがあるが、これには触れてはいけない。

(キ)ターゲットはバルーンターゲット内から移動させてはいけない。

(ク)競技中、すべてのアイテムは、競技前に配置した範囲内と主祭殿の段上、有田焼の上に関し再回収してもよいが、その他のコート床面等に落下した場合は再回収できない。

2-3 チーム構成

参加するチームは、生徒5名以内の登録選手及び引率教員、並びに生徒が製作した操縦型ロボット1台と自立型ロボット1台の計2台のロボットで構成する。ロボットは、操縦型ロボットだけでも参加できる。



3 ロボットの規格及び製作規定

3-1 製作するロボット

操縦型ロボット1台、自立型ロボット1台の計2台とする。

3-2 サイズ及び重量

3-2-1 操縦型ロボット

(ア)外寸：幅 500mm×奥行 500mm×高さ 600mm 以内

※外寸はスタート時の形状による寸法とし、スタート後の展開は自由とする。

※コントロールボックス、コード、配線支持棒はサイズに含まない。

(イ)重量：制限なし

※操縦型ロボットの重量とはロボット本体、コントロールボックス、動力源、配線コード、バッテリー等のロボット構成部品の合計重量。

3-2-2 自立型ロボット

(ア)外寸：幅 300mm×奥行 300mm×高さ 300mm 以内

外寸はスタート時の形状による寸法とし、スタート後の展開は自由とする。

(イ)重量：制限なし

※自立型ロボットの重量とはロボット本体、動力源、配線コード、バッテリー等のロボット構成部品の合計重量。

3-3 動力源

(ア)ロボットの動力源は、全てロボット本体に内蔵する。コントロールボックス内に電源を配置する場合、その用途がコントローラーの通信制御のためであり、ロボットの動力源に当たらない場合は、この限りではない。

(イ)動力源は、予めエネルギーを蓄えたバッテリー・バネ・ゴム・空気圧等とする。

3-4 制御方法・機構

(ア)コントロールボックスは1個とする。

(イ)有線で操縦型ロボットを操縦する場合は、ロボット本体とコントロールボックスを配線コードのみで接続する。ただし、配線コードの取り回しを行うための配線支持棒は使用可とする。

(ウ)無線で操縦型ロボットを制御する場合、使用周波数が 2.4GHz で、富士ソフト新ラジコンシステム、双葉電子工業 (FUTABA)、三和電子機械 (SANWA)、近藤科学 (KOPROPO)、日本遠隔制御 (JR) の各社無線機、ヴィストン株式会社ロボット専用コントローラー (V-コントローラーVS-C3)、5Company (VEX ロボティクス VEX V5)、及び PS2 無線コントローラー (Arduino 用 PS2 シールド) 並びに Bluetooth、ZigBee 及び Wi-Fi 規格の電波法に基づいたものを使用し、総務省電波利用技適マークが確認できるものを使用すること。それ以外の無線機、技適マークが確認できないものは競技大会出場失格とする。(PS3・PS4・PS5 のコントローラーについても有線・無線ともに使用可とする)



現在の技適マーク



旧技適マーク



- (エ) 有線と無線のコントロールボックスの混在は認めない。
- (オ) 競技開始後のロボットの展開、変形は自由とする。
- (カ) 各々のロボットの分離は一切認めない。
- (キ) 他チームのロボット、コート、アイテムに影響を及ぼすような機構を搭載しないこと。
- (ク) ロボットの誤作動を速やかに停止できる緊急停止用スイッチ(複数可)を各々に取り付ける。

3-5 その他

- (ア) ロボットは、生徒が設計・加工・組立・配線・プログラミングの各工程を自ら行ったものに限る。教員・外部者は、設計代行、部品製作、組立、プログラム作成等の実作業はせず、助言・安全指導を中心に関与できるものとする。
- (イ) 競技コート、会場、各アイテム等を損傷、汚濁させる部品(粘着性のある部材等)の使用は禁止する。特にタイヤ等の滑り止め剤を塗布、シリコン剤、コーキング剤、コート上に油膜を形成する素材、床表面の状態を変化させるような素材の使用、タイヤ痕を残す素材の使用や走行行為は禁止する。
- (ウ) レーザ等、人体に影響を及ぼす恐れのある装置や発光を伴う照準装置の使用は禁止する。
- (エ) 劣化したバッテリーを使用しない。バッテリーの液漏れを防ぐようなロボット構造にする。
- (オ) 燃焼を伴う火薬・内燃機関・異臭や人体に悪影響があるガス、油圧等の使用は禁止する。
- (カ) 空気圧を利用する場合、圧力源となるタンクにテープを巻いて破裂時の危険性を軽減する措置を施す。
- (キ) 布製のファスナー、磁石、圧力差による吸引等を利用した機構の使用は認める。

4 競技コートの仕様

4-1 各エリア(競技コート図面 を参照)

- (ア) 空間に関する記述がないエリアについて、当該エリア上空は、そのエリアに属さないものとしロボットや競技者が進入しても良い。
- (イ) 各エリアを区切るテープとモール上は、どのエリアにも属さないものとする。
- (ウ) 各エリアを構成するための床面以外の部分(例えば、各エリアの端の2×2材、2×4材等)にはロボットが触れても良いが、意図的に荷重をかけるなどの行為は行ってはならない。
- (エ) 操縦型ロボットと自立型ロボット共に、お互いの競技エリアの床面に触れることはできない。



4-1-1 天山エリア

(競技コート図面 天山エリア を参照)

(ア)コート床面、コート床面から高さ 300mm の面、それらを接続する坂道で構成する。

(イ)床面上に操縦型ロボットのスタート位置がテープで囲んである。



4-1-2 有田陶器市

(競技コート図面 有田陶器市 を参照)

(ア)コート床面から高さ 200mm の面で構成する。

(イ)競技準備にて競技者が、有田焼を自由に配置することができる。有田焼は重ねてもよい。

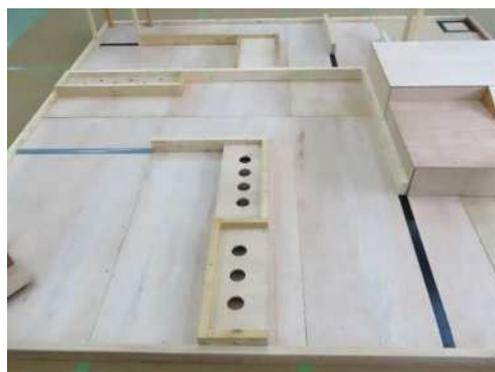
(ウ)競技準備にて競技者が、有田焼配置棒を配置する。



4-1-3 佐賀平野エリア

(競技コート図面 佐賀平野エリア を参照)

(ア)コート床面で構成する。



4-1-4 農産物市

(競技コート図面 農産物市 を参照)

(ア)コート床面から高さ 50mm の面で構成する。

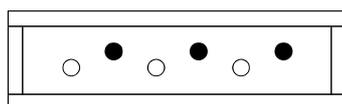
(イ)天板には、農産物を配置するためのφ25mmの穴がある。

(ウ)競技準備にて競技者が、指定の位置(穴上)におにぎりと玉ねぎを配置する。



●おにぎり

○玉ねぎ



佐賀平野エリア 側



4-1-5 海産物市

(競技コート図面 海産物市 を参照)

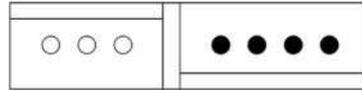
(ア)コート床面から高さ 50mm の面で構成する。

(イ)天板には、海産物を配置するためのφ70mmの穴がある。

(ウ)競技準備にて競技者が、指定の位置にイカとムツゴロウを配置する。

○ムツゴロウ

●イカ



佐賀平野エリア 側

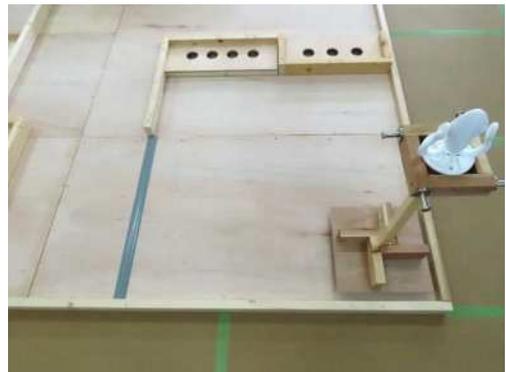


4-1-6 呼子朝市エリア

(競技コート図面 呼子朝市エリア を参照)

(ア)コート床面で構成する。

(イ)競技準備にて競技者が、呼子朝市エリア内の床面にイカ干し機を自由に配置する。



4-1-7 バルーンターゲット

(競技コート図面 バルーンターゲット を参照)

(ア)コート床面から高さ 612mm の面で構成する。

(イ)競技準備にて競技者が、バルーンターゲットの枠内(374mm×434mm)にターゲットを配置する。



4-1-8 吉野ヶ里遺跡エリア

(競技コート図面 吉野ヶ里遺跡エリア を参照)

(ア)コート床面で構成する。

(イ)床面上に自立型ロボット型ロボットのスタート位置がテープで囲んである。

(ウ)アイテムを設置するための主祭殿がある。

(エ)主祭殿は一番下を1段目として4段構成である。

(オ)主祭殿の最上部には屋根がある。

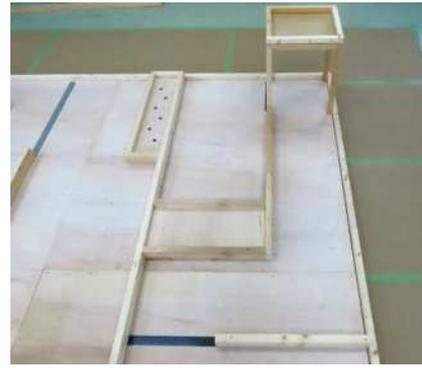


4-1-9 有明海沿岸道路

(競技コート図面 有明海沿岸道路 を参照)

(ア)コート床面で構成する。

(イ)有明海沿岸道路と海苔加工場エリアが接する上部にバルーンターゲットがある。



4-1-10 海苔加工場エリア

(競技コート図面 海苔加工場エリア を参照)

(ア)コート床面で構成する。



4-1-11 海苔加工場

(競技コート図面 海苔加工場 を参照)

(ア)コート床面から高さ 50mm の面で構成する。

(イ)競技準備にて競技者が、海苔を自由に配置することができる。

4-2 各エリアの材質

(ア)競技者エリアの材質

○吸ホル養生ボード 寸法 910mm×1820mm×6mm

(イ)床面・底面コート基本素材

○コンパネ材 (JAS 規格合板) 寸法 900mm×1800mm×12mm

JAS 規格合板については、製造地域や製造時期によって寸法・質感・光の反射率等が異なる場合があるものとする。

○2×4 材 (38mm×89mm)、2×2 材 (38mm×38mm)

床面フレームの格子状成型に使用する。競技コートの壁面として各所に使用する。

(ウ)エリア境界線素材

○3M スコッチビニールテープ(黒) テープ幅 50mm

○ワゴンモール ワイドタイプ 未来工業 OP5W-G 幅 54mm

(エ)競技コートは材料の性質上、ひずみ等による寸法の多少の誤差、段差、傷等があるものとする。

また、継ぎ目には多少の隙間が生じるものとする。

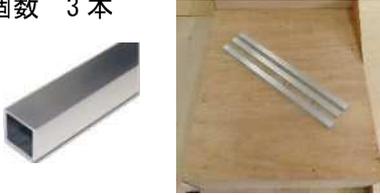
(オ)木材の特性上、歪み等があるため寸法については、±5mm 程度の誤差が生じることをご理解ください。



5 アイテムの配置、仕様等

アイテム	配置	仕様
アイテム A 名称 マーカー 個数 3個 	競技開始前までに競技者が 操縦型ロボット本体に保持 させる。	卓球ボール Nittaku ラージトップクリーン 44mm
アイテム B 名称 有田焼 個数 9枚 	競技者が有田陶器市に配置 する。 ※床面に接する台座の部分 を高台(こうだい)と呼ぶ	皿 エンテック ポリプロ給食皿 16cm No. 1712W
アイテム C 名称 おにぎり 個数 3個 	競技者が農産物市の指定の 位置に配置する。	軟式野球ボール (公財)全日本軟式野球連盟 公認 球 学童(小学生)用 重量 129g±1.8g 直径 69±0.5mm 色:白 ナガセケンコー(株) ケンコーボール公認球 J号
アイテム D 名称 玉ねぎ 個数 3個 	競技者が農産物市の指定の 位置に配置する。	硬式テニスボール ヨネックス TB-NP
アイテム E 名称 ムツゴロウ 個数 3個 	競技者が海産物市の指定の 位置に配置する。	シヤトル YONEX MAVIS(メイビス) M-40BP キャップカラー:ブルー
アイテム F 名称 イカ 個数 4個 	競技者が海産物市の指定の 位置に配置する。 ※作り方は図面参照	ペットボトル コカ・コーラ 350ml 
アイテム G 名称 海苔 個数 3枚 	競技者が海苔加工場に配置 する。	アクリル板(黒) メーカー 光 厚さ 2mm 品番 A960-2US 幅 160mm 長さ 180mm 



<p>アイテムH 名称 ターゲット 個数 1個</p> 	<p>競技者が競技準備において、バルーンターゲットの上に配置する。 マーカーを投入するターゲットとなる。 競技準備前のアイテム収納用と兼用で使用する。</p>	<p>コンテナ アステージ NF ボックス #13 クリア</p>
<p>アイテムI 名称 有田焼配置棒 個数 3本</p> 	<p>競技者が有田陶器市に配置する。 有田陶器市の範囲内に限り競技者がアイテムを回収し易いように使用してよい。</p>	<p>アルミ角パイプ メーカー 指定なし 厚さ 1.5mm 20mm×20mm×500mm</p>
<p>名称 イカ干し機</p> 	<p>競技者が競技準備において、呼子朝市エリア内にイカ干し機を配置する。</p> <p>※作り方は図面参照</p> <p>イカ干し機の上部にはイカのオブジェがある。</p>	

6 車検

- (ア)車検は、「ロボットの規格及び製作規定」に準じて検査する。
- (イ)車検は、公式練習前、競技前に実施する。
- (ウ)車検時に安全メガネ(保護メガネ又はゴーグル)の所持を確認する。

7 競技方法

7-1 競技コート入場

- (ア)競技者は3名以内とする。競技中に競技者を交代することは認めない。
- (イ)競技者はロボット、工具等(工具箱5L程度を上限とする)を準備して競技コートに入場することができるが電動工具・コンプレッサー・エアーを注入する道具は持ち込めない。
- (ウ)持ち込んだ工具や治具類は、待機椅子の下に置く。
- (エ)ロボットは台車から降ろして、競技者エリア内に直接置いてよい。



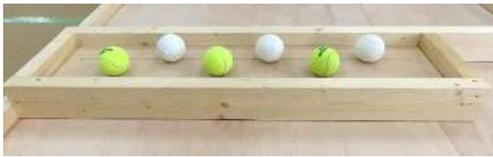
競技準備前のアイテム収納写真



7-2 競技準備

競技開始 90 秒前（競技準備開始）の合図で、競技者はコートにおいて以下の準備を行う。

- (ア) 操縦型ロボットにマーカー3 個を保持させる。
- (イ) 操縦型ロボットをスタート位置の枠内に入るように置き、コントロールボックスを競技者エリア内の床に置く。また、配線指示棒があれば競技者エリア内の床に置く。
- (ウ) 自立型ロボットをスタート位置の枠内に入るように置く。
- (エ) 車検後のロボット本体の変化やスタート前のロボットの展開等は、一切認めない。
- (オ) 競技者が、農産物市の指定の位置に、おにぎり・玉ねぎを、海産物市の指定の位置に、ムツゴロウ・イカを配置する。
- (カ) 競技者が、海苔加工場に海苔を配置する。海苔同士の縁の接触はよいが、海苔の重ね・立て掛けは認めない。
- (キ) 競技者が、呼子朝市内にイカ干し機を配置する。
- (ク) 競技者が、バルーンターゲットの天板にターゲットを配置する。(天板にターゲットの底がすべて接するように配置する)
- (ケ) 競技者が、有田陶器市の鉛直線上内に有田焼を配置する。有田焼は重ねてもよい。
- (コ) 有田焼配置棒は、以下の①～③の範囲内で、競技者が自由に配置することができる。(例：有田焼の回収が容易になるように、有田焼の下に配置してもよい)
 - ① 競技準備前、競技コート係が有田陶器市上に有田焼配置棒の3 本を置く。競技準備にて、競技者が有田焼配置棒を配置する。(有田陶器市からはみ出してはいけない)
 - ② 有田焼配置棒は、棒同士を積み重ねて配置することができる。ただし、棒を立てたり、棒をコートの壁を使って立て掛けたりすることはできない。
 - ③ 競技者が有田焼配置棒を必要ないと判断していても、競技準備において有田陶器市に配置しなければならない。(有田焼配置棒が有田焼に接触しなくてもよい)
- (サ) アイテム配置のために治具を使用しても構わない。
- (シ) アイテムが所定の配置方法と異なった状態のものは一切認められない。
- (ス) 全ての準備を終えた後、競技者の代表1 名が主審にわかるように挙手にて「準備完了」を伝える。競技者は、審判の準備完了確認済の合図を確認する。その後、競技者は競技開始まで待機する。(準備完了確認済の合図がないときは、その理由を審判に直接確認することが望ましい)

〈おにぎり・玉ねぎ〉 正しい配置例	〈ムツゴロウ・イカ〉 正しい配置例
<p style="text-align: center;">海苔加工場エリア側</p>  <p style="text-align: center;">佐賀平野エリア側</p>	<p style="text-align: center;">呼子朝市エリア側</p>  <p style="text-align: center;">佐賀平野エリア側</p>



〈有田焼〉 正しい配置例



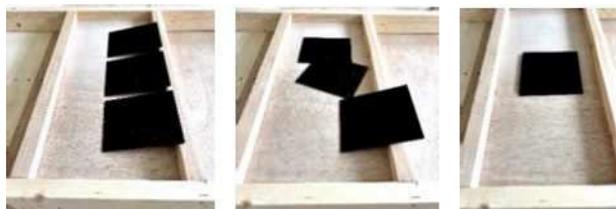
〈有田焼〉 誤った配置例



〈海苔〉 正しい配置例



〈海苔〉 誤った配置例



重ね、
立て掛け

7-3 競技開始、競技中

- (ア) 競技時間は3分間とし、競技開始の合図（ブザーの鳴りはじめ）で始まる。
- (イ) 操縦型ロボット担当者は、競技開始の合図で競技者エリアに置かれたコントロールボックスを手に取り操縦を開始する。
- (ウ) 自立型ロボット担当者は、競技開始の合図後にスイッチを入れ、スタートさせる。ただし、自立型ロボット動作後、競技者はロボットに触れてはいけない。
- (エ) 競技中、競技者は競技者エリア内で競技を行う。



- (オ) 競技中、アイテムが異なる競技エリアに、落下・進入しても、そのアイテムを取り除くことはできない。(例：自立型ロボットの競技エリア内に、玉ねぎが進入した場合、競技中はその玉ねぎをコートから取り除くことはできない)
- (カ) 競技中、アイテムが競技者エリア及び競技者エリア外に、落下・進入した場合は、競技者または審判が、そのアイテムを取り除き、待機椅子の横の一時収納 BOX に入れる。
- (キ) 競技中、ロボットは有田焼配置棒に接触してもよいが、保持することはできない。
- (ク) 競技中、有田焼配置棒が競技コートの床面に落下しても回収できない。

7-4 競技終了

7-4-1 競技終了の宣言

- (ア) 競技開始の合図から、3 分後の競技終了の合図（ブザーの鳴りはじめ）で競技を終了する。
- (イ) 競技者の判断により、操縦型ロボット担当者が、コントロールボックスを競技者エリアに置き、拳手をして「競技終了」を宣言することができる。宣言が審判に認められた後に「競技終了」となる。
(自立型ロボットも競技終了となるため、競技終了の宣言には注意すること)
- (ウ) ロボットが発煙、エアータンクの破裂等の危険な状態に陥った場合や競技コートの状態を損なう可能性が生じた場合は、勝敗よりも安全を優先し、審判による「リトライ又は失格」の宣言を待たずに、事態が発生する前に競技者自らが「競技終了」を宣言する。

7-4-2 競技終了後

- (ア) 競技終了後、審判の判断により得点集計を開始する。
- (イ) 競技終了後、競技者は審判の許可が出るまで待機する。ロボット操縦、ロボットへの接触、コートへの進入、電源操作も認められない。

7-5 リトライについて

7-5-1 競技者による「リトライ 1 台」宣言

- (ア) 競技者の判断において、操縦型ロボット及び自立型ロボットの担当者が、それぞれリトライを宣言できる。

7-5-2 審判による「リトライ 1 台」宣言

- (ア) フライングスタートした場合。対象のロボットにリトライを宣言する。
- (イ) 競技者が、審判の許可なく競技を開始、もしくは競技を再開した場合。
- (ウ) 競技者が、競技中に審判の許可なくロボットやコート、アイテム類に触れた場合。
(コート鉛直空間内で、競技者が偶発的に得点対象物と接触した場合、明らかに得点の増減に影響しないと判断した場合は、宣告しない場合もある)

7-5-3 審判による「リトライ 2 台」宣言

- (ア) 異なる競技エリアの床にロボットが接触した場合。
- (イ) 競技上の注意の禁止事項に該当したとき、審判の判断により宣告することがある。



7-5-4 リトライ宣言後

- (ア) リトライ対象ロボットが宣言までに獲得した点数をリセットする。ただし、タイム計測はリセットされない。
- (イ) リトライ対象でないロボットは競技を続行したままでよい。
- (ウ) 競技続行中の操縦型ロボット担当者以外の競技者は、競技準備のためリトライ対象の競技コートへの進入、待機椅子付近までの移動ができる。
- (エ) 競技者はリトライ対象のロボットをスタート時（展開前）の初期状態に戻し、スタート位置に戻す。
- (オ) リトライ対象エリアにあるアイテムと一時収納 BOX のアイテムを含め該当エリアの初期位置にアイテムを戻す。（競技続行中エリアにあるアイテムは回収できない）
- (カ) リトライ対象エリア内に、異なる競技エリアのアイテムが落下・進入している場合、そのアイテムをコートから取り除き、待機椅子の横の一時収納 BOX に入れる。（例：自立型ロボットのリトライにおいて、玉ねぎが自立ロボットの競技エリア内にある場合、玉ねぎをコートから取り除き、待機椅子の横の一時収納 BOX に入れる）
- (キ) 競技開始の準備が完了したら、競技者が審判へ準備完了を伝える。
- (ク) 競技者は、審判の「始め」の合図を得て、競技開始の手順と同様に競技を始める。
- (ケ) 本来の 3 分間の競技終了の合図（ブザーの鳴りはじめ）と同時に競技を終了する。

7-6 競技と判定について

- (ア) 競技終了後、審判が目視でアイテムの状態を確認して得点を計算する。
- (イ) 審判の得点確認時において、ロボットが得点対象のアイテムに接触している場合は、そのアイテムは得点しない。
- (ウ) 審査後にアイテム等の状況が変化しても、再審査は行わない。
- (エ) 有田焼は主祭殿の 2~4 段目に設置され、主祭殿の段上に高台が接している場合のみ得点する。
有田焼の高台の一部が、段上外に、はみ出している場合、1 枚として得点する。
- (オ) 「有田焼同士接触により有田焼の高台の一部が浮いている」または「有田焼が重なっている」場合、高台が主祭殿の段上に接している下の有田焼のみ得点する。
- (カ) 有田焼が「柱に寄りかかっている」または「他アイテムの上にある」状態で、有田焼の高台の一部が浮いている場合は、得点しない。
- (キ) おにぎり・玉ねぎは、得点対象の有田焼の上にあるアイテムを得点する。
- (ク) ムツゴロウは、有田焼の上の鉛直線上にアイテムがすべて入っている場合に得点する。有田焼の鉛直線上から一部でもはみ出している場合は、得点しない。
- (ケ) 1 枚の有田焼の上に複数のアイテムがある場合、1 つのアイテムのみ得点する。
- (コ) 有田焼の上のおにぎり・玉ねぎ・ムツゴロウが、別の有田焼に接触している場合、有田焼の上のアイテムは得点しない。
- (サ) イカはイカ干し機に吊り下げられているものに得点する。
- (シ) イカ干し機のフック 1 箇所につき、イカは 1 杯までとする。フックに複数のイカがある場合、1 つのイカのみ得点する。
- (ス) イカ干し機の接地面の一部が呼子朝市エリア外にあたり、倒れたりした場合には、イカはすべて得点しない。



- (セ) 自立型ロボットは、ロボットの接地面がすべて海苔加工場エリアに進入した時点で、通過点を得点する。(1回のみ。ただし、リトライの場合は再度通過することで得点する)
- (ソ) 自立型ロボットが競技終了時点で、海苔加工場エリアから移動し、スタート位置に接地面がすべて戻っている場合に、得点を追加する。
- (タ) 海苔は主祭殿の1段目に面で接している場合のみ得点する。
- (チ) 「海苔の一部が段上外にはみ出している」または「海苔同士の縁のみが接触している」場合も、得点する。
- (ツ) 「海苔同士の接触により海苔の一部が浮いている」または「海苔が重なっている」場合、主祭殿の段上に面で接している下の海苔のみ得点する。
- (テ) マーカーがターゲット内に入っている場合に得点する。

7-7 判定例について

<有田焼> 得点する設置例	
	 <p>有田焼同士が接触(高台が浮いてない)</p>

<有田焼> 得点しない設置例	<有田焼> 下の有田焼のみ得点する設置例
	 <p>有田焼同士が接触 (高台が浮いている)</p>

<おにぎり、玉ねぎ>		
得点する設置例	左側の おにぎり又は玉ねぎ のみ得点する	1つのみ得点する
		



〈おにぎり、玉ねぎ〉 得点しない設置例



得点対象でない
有田焼に接触して
いる

〈ムツゴロウ〉

得点する設置例



右側のムツゴロウのみ得点する



左は得点対象でない
有田焼の上にある

1つのみ得点する



〈ムツゴロウ〉 得点しない設置例



〈海苔〉

得点する設置例



下の海苔のみ得点する



段上に面で接している
下の海苔のみ得点する

得点しない設置例



段上に面で接していない海苔は
得点しない



＜イカ＞	
得点する設置例	1つのみ得点する
	

8 得点

得点表

アイテム名	個数	得点	得点の条件	小計	合計
有田焼	9	10	主祭殿の2～4段目上に設置されている。	-	90
ムツゴロウ	3	10	主祭殿4段目の有田焼の上に設置されている。	30	90
玉ねぎ	3	10	主祭殿3段目の有田焼の上に設置されている。	30	
おにぎり	3	10	主祭殿2段目の有田焼の上に設置されている。	30	
イカ	4	30	イカ干し機に吊り下げられている。	-	120
マーカー	3	30	マーカーがターゲット内に入っている。	-	90
海苔	3	40	主祭殿1段目に設置されている。	-	120
自立型ロボットが海苔加工場エリアに入る。	40		接地面がすべて海苔加工場エリアに入る。 (1回のみ)	40	90
自立型ロボットがスタート位置に戻る。	50		海苔加工場エリアから移動し、接地面がすべてスタート位置に戻っている。	50	
合計					600

9 Vゴールの条件

(ア) 競技者が、下記の①, ②の条件をすべて満たしたと判断し、審判に「競技終了」を宣言した場合にVゴール(パーフェクト)として扱う。その競技時間を記録する。

- ① アイテムA～G全てが所定の箇所に正しく設置された場合。
- ② 自立型ロボットがスタートエリア内で完全に停止している場合。

※競技者がVゴールと判断して「競技終了」を宣言しても、審判の得点確認にて、減点される場合がある。



10 勝敗の判定基準

次の順序で勝敗（順位）判定を行う。

- ① 得点が満点の場合、残り時間の多いチームを上位とする。
- ② 得点の高いチームを上位とする。
- ③ 主祭殿に設置したアイテムの種類が多いチームを上位とする。
- ④ 操縦型ロボットの重量が軽いチームを上位とする。
- ⑤ 各チーム代表者一人によるじゃんけんで勝ったチームを上位とする。

11 競技上の注意

11-1 注意事項

- (ア) 競技者は、上履きを履き、安全メガネ（保護メガネ又はゴーグル）を着用して競技する。
- (イ) アイテムは、大会事務局が準備したものを使用する。
- (ウ) 競技準備によるコートへの立ち入りは、上履きを履いたままでよい。
- (エ) 無線機の競技中のトラブルについては、競技者が対応すること。主催者は一切対応しない。
- (オ) 配線支持棒を、配線支持以外の目的で使用してはならない。
- (カ) エア注入等危険を伴う作業を行う場合は、指定された場所で安全メガネ（保護メガネまたはゴーグル）を着用し、周囲の安全にも配慮する。
- (キ) 競技中にロボットがコートの枠や壁などに接触してもなお動作し続けるなど、ロボットが制御不能の状態であると予測され、審判が競技コート及びアイテムを損傷する恐れがあると判断した場合、競技者に確認しロボットの停止を指示することがある。

11-2 禁止事項

- (ア) 競技中は、指示があるまで、ロボットの本体、競技コート、アイテム等に触れてはならない。
- (イ) 競技者は（ロボットによるものも含む）、競技コート及びアイテムを損傷、汚損してはいけない。特に、競技の公平性やコートの仕様を損なう行為をしてはならない。
- (ウ) 配線コードを使ってアイテムを移動させたり、ロボットの移動、姿勢変更、姿勢維持をしたりしてはいけない。

12 失格事項

以下の事項に該当する場合、協議の上、失格とする場合がある。

- (ア) 競技者が招集時間内に集合しなかった場合。
- (イ) ロボットが車検に合格できなかった場合。
- (ウ) 次の競技に影響するような著しい損傷・汚濁をコート、アイテムに与えた場合。
- (エ) 競技中に外部から競技者に指示を行った場合。
- (オ) 競技中に外部と通信機器・情報機器等による通信を行った場合。
- (カ) 競技の公正を害する行為、または言動があった場合。
- (キ) 審判の指示、注意に従わなかった場合。
- (ク) 競技場、練習コート、駐機場に、ゼッケンを着用した競技者3名以外のチーム関係者が立ち入った場合。
- (ケ) 無線機の電波やセンサ等を故意に妨害した場合。また、競技を妨害した場合。



(コ)「ロボットの規格及び製作規定」及び「競技方法」、「競技上の注意」を守らなかった場合。

13 異議申し立て

競技中は審判の判定に対し、異議申し立てをすることはできない。なお、得点については、主審が集計した後、主・副審判が競技者の代表1名に得点の確認を行うので、競技者の代表1名は、得点状況を確認し、集計表に署名すること。署名後は、一切の異議を申し立てることはできない。

14 表彰

表彰については、以下のとおりとする。

表彰名		表彰名	
優勝（文部科学大臣賞）		経済産業大臣賞（技術奨励賞）	
授与者	文部科学大臣 (公社)全国工業高等学校長協会理事長 第36回全国産業教育フェア佐賀大会実行委員会会長 第34回全国高等学校ロボット競技大会会長	授与者	経済産業大臣 ※革新的な技術にチャレンジし、その完成度、発展性及びチームワークなどを総合的に審査し、最も優れたチームに授与
準優勝		特別賞	
授与者	(公社)全国工業高等学校長協会理事長 第36回全国産業教育フェア佐賀大会実行委員会会長	授与者	佐賀県知事 ※ロボットの完成度、発展性及びチームワークなどを総合的に審査し、優れたチームに授与
第3位		アイデア賞(2チーム)	
授与者	(公社)全国工業高等学校長協会理事長 第36回全国産業教育フェア佐賀大会実行委員会会長	授与者	第34回全国高等学校ロボット競技大会会長 ※技術的アイデア及びチームワークなどを総合的に審査し優れたチームに授与
第4位			
授与者	(公社)全国工業高等学校長協会理事長 第36回全国産業教育フェア佐賀大会実行委員会会長		
敢闘賞(4チーム)			
授与者	(公社)全国工業高等学校長協会理事長 ※第5位～第8位に授与		

※決勝に進出した8チームを
表彰の対象とする

15 その他

- (ア)不測の事態が生じた場合は、大会役員が協議して対処を決定する。
- (イ)大会中に生じた怪我・事故等について、主催者は一切責任を負わない。
- (ウ)チームの構成員は、大会が選手の学習活動の場であることを認識し、競技の安全性や公平性大会の円滑な運営に努める。
- (エ)ロボットの移動中に怪我や物損を防止するための台車（1000mm×1000mm×1000mm内）をできるだけ用意する。
- (オ)教育的効果を高める観点から、主催者及び競技関係者は、ロボットや選手の様子等を記録し外部に向けて発信することがある。また、他チームの選手が大会終了後における学習活動の参考にするために、各チームのロボットを撮影することがある。なお、他チームのロボットを撮影すると



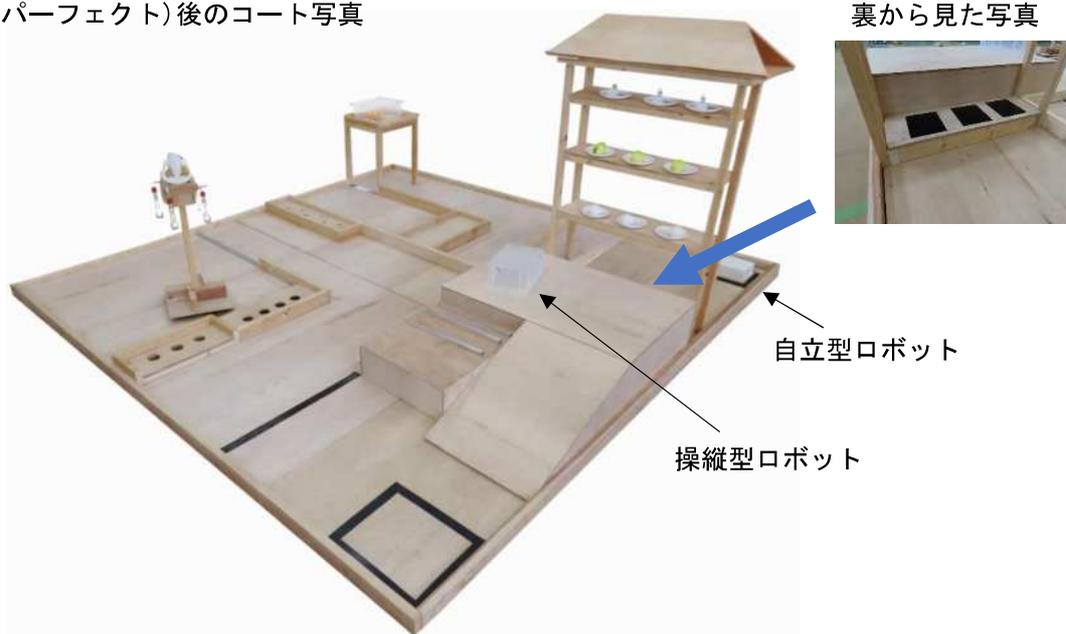
きは、整備の邪魔にならないことを確認してから承諾を得て撮影するなど、競技とは直接関係ない場面においても、常に行動に配慮すること。

16 競技コート

16-1 競技開始前のコート写真



16-2 Vゴール(パーフェクト)後のコート写真



以上



※整理番号	
-------	--

様式6-1

第36回全国産業教育フェア佐賀大会



さしフェア SAGA 2026

「第34回全国高等学校ロボット競技大会」

仮 申 込 書

令和8年 月 日

都道府県名			
ふりがな			参加チーム数
学校名	立	高等学校	
ふりがな			参加チーム数
学校名	立	高等学校	
ふりがな			参加チーム数
学校名	立	高等学校	
ふりがな			参加チーム数
学校名	立	高等学校	
ふりがな			参加チーム数
学校名	立	高等学校	
ふりがな			参加チーム数
学校名	立	高等学校	
ふりがな			参加チーム数
学校名	立	高等学校	
ふりがな			参加チーム数
学校名	立	高等学校	
ふりがな			参加チーム数
学校名	立	高等学校	
ふりがな			参加チーム数
学校名	立	高等学校	
都道府県大会等参加予定チーム総数			チーム
教育委員会 担当者	職 名		ふりがな
			氏 名
	TEL		FAX
	E-mail		

※ 申込み完了は、実行委員会担当者から教育委員会担当者へ電子メールで通知する。

※ 整理番号の欄は、何も記入しないこと。

※整理番号

様式6-2

第36回全国産業教育フェア佐賀大会



さんフェア SAGA 2026

「第34回全国高等学校ロボット競技大会」

本 申 込 書

令和8年 月 日

都道府県名				
ふりがな				
学校名	立	高等学校		
ふりがな				
学校所在地	〒			
ふりがな				
チーム名 (10文字以内)				
都道府県大会の実施		実施した大会の成績	○位／○チーム中	
生徒 5名以内	ふりがな			
	氏 名			
	ふりがな			
	氏 名			
	ふりがな			
	氏 名			
	ふりがな			
	氏 名			
担当者 (引率者) 2名以内	ふりがな			
	氏 名			
	ふりがな			
	氏 名			
	TEL		FAX	
	代表担当者 E-mail			
	当日連絡可能な連絡先			

※ 1チーム1枚の申込書を作成すること。

※ 申込み完了は、「受付・問合せ担当校」から代表担当者へ電子メールで通知する。

※ 整理番号の欄は、何も記入しないこと。



第36回全国産業教育フェア佐賀大会

さいごふ SAGA 2026

「第1回全国高校生ビジネスアイデアコンクール」募集要項

1 概 要

全国の職業系専門科目を学ぶ高校生が、学んだ知識を活用し、住んでいる地域や国内、国際社会が抱える課題を解決するためのビジネスアイデアを提案することをとおして、チャレンジ精神や探究心等の「起業家精神」と情報収集力・分析力・判断力・コミュニケーション力等の「起業家的資質能力」の育成を図る。

2 応募資格

全国の職業系専門科目を学ぶ高校生で構成されたチームとする。なお、チームは学校単位で構成し、1チーム5名以内、同一校からのエントリーは2チーム以内とする。

3 日 程

(1)予選審査(書類審査)

・提出期間 令和8年7月1日(水)～7月28日(火)

※結果は令和8年8月24日(月)以降電子メールで通知する。

(2)本選審査(プレゼンテーション・質疑応答)

・期 日 令和8年10月24日(土) リハーサル(導線、機材動作確認等)

令和8年10月25日(日) 開会式、本選、交流会、閉会式

・時 間 9時00分～13時00分

4 会 場

〒849-0923 佐賀県佐賀市日の出1丁目21-10

ミズ ウェルビーホール(旧佐賀市文化会館) 中ホール

5 交通費、宿泊費及び輸送費等

(1)出場者及び引率者の交通費及び宿泊費等については、自己負担とする。なお、宿泊希望者については、大会ホームページに掲載する「宿泊要項」により事務局が宿泊先を斡旋する。

(2)機器の輸送及び返却に係る輸送費(梱包代金等を含む)は、自己負担とする。

6 実施方法

(1)予選審査

① 提出されたエントリーシートによる書類審査とする。

② 課題の着眼点、アイデアの独創性および実現可能性、課題解決への期待度を含め総合的に審査する。

③ 8チームを選出し、本選に出場する。

(2)本選審査

予選審査通過8チームによる口頭発表(プレゼンテーション7分以内、質疑応答5分)とし、プロジェクト等の視聴覚機器や実物などを活用し、具体的に説明すること。

7 審査方法

(1)審査員

文部科学省より1名、全国商業高等学校長協会より1名、および高等学校の専門教育に理解の深い学識経験者、国内で活躍している起業家、プレゼンテーションに関する有識者等の5名で構成する。

(2)審 査

審査は、予選審査の観点に加え、収益性や継続性、プレゼンテーションおよび質疑応答での説明などを含め総合的に審査する。

8 表 彰

- 最優秀賞 1チーム「文部科学大臣賞」「産業教育振興中央会会長賞」をあわせて授与、「全商協会賞・盾」
優 秀 賞 2チーム「全商協会賞・盾」
奨 励 賞 5チーム「全商協会賞」

9 申込方法

(1) 申込方法

- ① 参加する学校は、本要項にもとづき、所定の「(様式7)エントリーシート予選審査用」に必要事項を記入し、令和8年7月1日(水)～7月28日(火)に学校ごとに取りまとめて、LoGoフォーム(注)にて提出すること。
- ② 「(様式7)エントリーシート(予選審査用)」は大会ホームページよりダウンロードして使用すること。
- ③ LoGoフォームによるエントリーが完了したら、エントリーしたメールアドレス宛に自動返信メールを送信する。ただし、LoGoフォームにて応募手続きを完了したが、3日を経過しても受付完了メールが届かない場合は、「受付・問合せ担当校」にメールで確認を取ること。
- ④ 募集要項・実施規則等に関する問合せは、原則として「受付・問合せ担当校」へ電子メールで行うこと。
- ⑤ 提出書類の作成にあたっては、参加生徒の氏名、肖像等の個人情報を大会要項等に掲載し、公開することがあるため、本人の了承を得ておくこと。
- ⑥ 予選審査通過校(8チーム)は、後日案内されるフォームにて、令和8年9月18日(金)までに必要データ・書類を提出すること。

なお、詳細については、予選審査を通過した学校(チーム)に別途送付される「第1回全国高校生ビジネスアイデアコンクール(本選)審査要項」を参照すること。

(注)LoGoフォームは株式会社トラストバンクが提供する「自治体向けのノーコード電子申請システム」です。入力フォームへは大会ホームページから申込ページ「<https://logoform.jp/form/jbBd/1434998>」へアクセスするか、右に記載の二次元コードからアクセスして申し込みをすること。



(2) 受付・問合せ担当校

学校名	所在地	担当者
鳥栖商業高等学校	〒841-0076 佐賀県鳥栖市平田町1110-8 TEL:0942-83-2153 FAX:0942-81-1020 E-mail:saga2026business@education.saga.jp	校 長 城ヶ崎 郁剛 担当者 田原 幸男 荒巻 小百合

10 実行委員会事務局

第36回全国産業教育フェア佐賀大会実行委員会事務局本部
(佐賀県教育委員会事務局学校教育課内)
〒840-8570 佐賀県佐賀市城内一丁目1番59号
TEL 0952-25-7228 FAX 0952-25-7286
大会HP <https://sanfair-saga2026.jp/>

11 注意事項

- (1)応募アイデアの知的所有権に関しては応募者に帰属します。ただし、他人の知的所有権を侵害した場合や、著作権の侵害など第三者と問題が生じた場合は応募者の責任となり、主催者は一切の責任を負いません。
- (2)応募されたビジネスアイデアは最終審査日に公開資料となり、新規性を喪失することをご了承下さい。ただし、発明の新規性喪失の例外規定(特許法第30条)の適用を受ける場合は、公開日から1年以内に特許出願するなどして各自で法的保護を講じてください。
- (3)予選審査を通過した場合、「応募者名」「ビジネスアイデア名」「概要」を公表することがありますので、予めご了承ください。
- (4)応募アイデアは応募者自身のオリジナル、かつ、国内外において未発表のものに限ります。なお、過去に同様のコンクール等で受賞しているものや、他の大会等への二重応募はできません。
- (5)コンクール期間中、記録や広報のため、主催者または取材による録音・録画・写真撮影等を行うことがあります。また、主催者がホームページ、SNSや報告書に掲載する場合がありますので、予めご了承ください。
- (6)著作権や商標権、肖像権などの知的財産権を侵害するおそれのある行為や、法令等に違反する行為または違反する恐れがある行為が判明した場合は授与した賞を取り消すことがあります。
- (7)応募書類に記載された個人情報、共同提案者のものも含め本コンクールに関連した目的の範囲内で使用します。
- (8)応募されたビジネスアイデアは応募書類に記載の内容にもとづき審査します。先行技術文献をはじめとするビジネス市場調査は応募者自身で行ってください。本主催者は先行文献等がないことを保証しません。
- (9)提案するアイデアは、所属先の学校長の了承を得て応募してください。
- (10)応募にかかる費用(資料作成費、本選の旅費・宿泊費等)はすべて応募者の負担とします。
- (11)提出された書類は返却しませんので予めご了承ください。
- (12)その他主催者が不適切と判断する行為がないよう留意してください。



第36回全国産業教育フェア佐賀大会

さいごふ SAGA 2026

「第1回全国高校生ビジネスアイデアコンクール」実施規則

1 実施方法

(1) 申込方法

参加する学校は、本要項にもとづき、所定の「(様式7)エントリーシート予選審査用」に必要事項を記入し、令和8年7月1日(水)～7月28日(火)に学校ごとに取りまとめて、LoGoフォーム(注)にて提出すること。

(注)LoGoフォームは株式会社トラストバンクが提供する「自治体向けのノーコード電子申請システム」です。入力フォームへは大会ホームページから申込ページ「<https://logoform.jp/form/jbBd/1434998>」へアクセスするか、右に記載の二次元コードからアクセスして申し込みをすること。



(2) 予選審査

- ① 提出されたエントリーシートによる書類審査とする。
- ② 課題の着眼点、アイデアの独創性および実現可能性、課題解決への期待度を含め総合的に審査する。
- ③ 8チームを選出し、本選に出場する。

(3) 本選審査

予選審査通過8チームによる口頭発表(プレゼンテーション7分以内、質疑応答5分)とし、プロジェクト等の視聴覚機器や実物などを活用し、具体的に説明すること。

2 審査方法

(1) 審査員

文部科学省より1名、全国商業高等学校長協会より1名、および高等学校の専門教育に理解の深い学識経験者、国内で活躍している起業家、プレゼンテーションに関する有識者等の5名で構成する。

(2) 審査

審査は、予選審査の観点に加え、収益性や継続性、プレゼンテーションおよび質疑応答での説明などを含め総合的に審査する。

3 表彰

最優秀賞 1チーム 優秀賞 2チーム 奨励賞 5チーム

4 競技上の注意事項

- (1)応募アイデアの知的所有権に関しては応募者に帰属します。ただし、他人の知的所有権を侵害した場合や、著作権の侵害など第三者と問題が生じた場合は応募者の責任となり、主催者は一切の責任を負いません。
- (2)応募されたビジネスアイデアは最終審査日に公開資料となり、新規性を喪失することをご了承下さい。ただし、発明の新規性喪失の例外規定(特許法第30条)の適用を受ける場合は、公開日から1年以内に特許出願するなどして各自で法的保護を講じてください。
- (3)予選審査を通過した場合、「応募者名」「ビジネスアイデア名」「概要」を公表することがありますので、予めご了承ください。
- (4)応募アイデアは応募者自身のオリジナル、かつ、国内外において未発表のものに限ります。なお、過去に同様のコンクール等で受賞しているものや、他の大会等への二重応募はできません。
- (5)コンクール期間中、記録や広報のため、主催者または取材による録音・録画・写真撮影等を行うことがありま

- す。また、主催者がホームページ、SNSや報告書に掲載する場合がありますので、予めご了承ください。
- (6)著作権や商標権、肖像権などの知的財産権を侵害するおそれのある行為や、法令等に違反する行為または違反する恐れがある行為が判明した場合は授与した賞を取り消すことがあります。
 - (7)応募書類に記載された個人情報、共同提案者のものも含め本コンクールに関連した目的の範囲内で使用します。
 - (8)応募されたビジネスアイデアは応募書類に記載の内容にもとづき審査します。先行技術文献をはじめとするビジネス市場調査は応募者自身で行ってください。本主催者は先行文献等がないことを保証しません。
 - (9)提案するアイデアは、所属先の学校長の了承を得て応募してください。
 - (10)応募にかかる費用(資料作成費、本選の旅費・宿泊費等)はすべて応募者の負担とします。
 - (11)提出された書類は返却しませんので予めご了承ください。
 - (12)その他主催者が不適切と判断する行為がないよう留意してください。

5 日 程

- (1) 令和8年10月24日(土) 15時00分 ~ 17時00分 リハーサル
- (2) 令和8年10月25日(日) 8時30分 ~ 8時55分 受付
- 9時00分 ~ 9時15分 開会式
- 9時25分 ~ 11時30分 発表
- 11時30分 ~ 12時30分 審査
- ※審査時間に参加者交流会を実施します。
- 12時40分 ~ 13時00分 閉会式

※ 日程は変更が生じる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

令和8年度第1回全国高校生ビジネスアイデアコンクール審査基準

1 審査対象

- (1) 全国の職業系専門科目を学ぶ高校生で構成されたチームのビジネスアイデア。
- (2) 応募者自身のオリジナル、かつ、国内外において未発表のものに限る。

2 審査観点

全国の職業系専門科目を学ぶ高校生が、学んだ知識を活用し、住んでいる地域や国内、国際社会が抱える課題を解決するためのビジネスアイデアとなっているか。

3 審査配点および審査項目

総合得点を200点とし、各項目での得点および観点は以下の表のとおりとする。なお、「エントリーシートの内容」および「エントリーシートの完成度」については予選審査(80点満点)を行い、当日の発表内容をふまえ必要に応じて得点を修正する。

エントリーシートの内容(予選審査)	60点	20点	1 課題の着眼点・アイデアの独創性
		20点	2 現状分析とビジネスとしての可能性 3 市場・ユーザに対する理解度
		20点	4 ビジネスの展開と行動計画 5 ユーザ(顧客)に対する訴求力
エントリーシートの完成度(予選審査)	20点	提案するビジネスアイデアの魅力が伝わるよう、工夫した構成となっているか	
ビジネスアイデア発表(本選)	100点	40点	1 発表上の態度
		40点	2 ビジネスアイデア内容の説明
		20点	3 質疑応答
総合評価(本選)	20点	※エントリーシート(予選審査用)と発表(本選)の内容をふまえ、完成度、チャレンジ精神や探究心等の「起業家精神」、情報収集・分析力、判断力、コミュニケーション力等の「起業家的資質能力」などを総合的に評価する。 ・エントリーシート(予選審査用)の内容に関する評価 ・発表(本選)に対する評価	

4 ビジネスアイデアエントリーシート

- (1) エントリーシートは主催者が指定する様式7(A4版1枚)にまとめて提出する。
- (2) 指定するLoGoフォーム(<https://logofom.jp/form/jbBd/1434998>)にてエントリーすること。

5 発表時間

司会者による「発表を始めてください」の台詞終了時から7分以内とし、超過した場合は即座に発表を終了すること。

6 順位決定方法

各審査委員による総合得点の合計が高いチーム(学校)を上位とする。なお、総合得点の合計が同点の場合は、審査委員で協議し、審査委員長が順位を決定する。

7 審査委員

文部科学省より1名、全国商業高等学校長協会より1名、および高等学校の専門教育に理解の深い学識経験者、国内で活躍している起業家、プレゼンテーションに関する有識者等の5名で構成する。

8 表彰

種類	受賞数	備考
最優秀賞	1チーム	文部科学大臣賞 産業教育振興中央会会長賞をあわせて授与 全商協会賞・盾を授与
優秀賞	2チーム	全商協会賞・盾を授与
奨励賞	5チーム	全商協会賞

9 その他

- (1) 企画立案、検討にあたり、生成AIを使用してもかまわないが、生成された回答に自分たちの言葉(独自のアイデア)を加えることなく、そのまま企画案として利用することは控えること。生成AIによる回答を企画内容にそのまま活用したと疑わしき場合は、審査段階に関わらず、失格とすることがあるので、あらかじめ留意しておくこと。
- (2) エントリーシート(予選審査用)および、発表(本選)におけるコンテンツ(画像・映像などの個々の情報)の使用に際しては、知的財産権に十分留意すること。



「全国高校生ビジネスアイデアコンクール」エントリーシート(予選審査用)

整理 番号	※
----------	---

アイデア名				地区名				都道	
				北海道 東北 関東				府県	
チーム名	学科	学年	名前(ふりがな)	(○で囲む) 東海 北信越 近畿				TEL:	
				中国 四国 九州				FAX:	
				(ふりがな) 学校名					
				住所					
				担当者		職名		(ふりがな) 名前	
				(引率者)		E-mail:			

※ ここから下は自由に作成してください。(イラストや図表なども、適宜追加してください)

作成例



整理番号	※
------	---

「全国高校生ビジネスアイデアコンクール」エントリーシート(予選審査用)

アイデア名				地区名 (〇で囲む)	北海道 東北 関東	都道府県	佐賀
チーム名	学科	学年	名前(ふりがな)		東海 北信越 近畿		
	〇〇〇科	3	佐賀 大和 (さが やまと)	(ふりがな)	中国 四国 九州	TEL:0952-**-****	
	◇◇◇科	3	小城 三日月(おぎ みかづき)	学校名	佐賀県立佐賀産業高等学校	FAX:0952-**-****	
				住所	佐賀県佐賀市〇〇町〇〇-〇		
				担当者 (引率者)	職名	教諭	(ふりがな) 名前
					鍋島 花子(なべしま はなこ)		
				E-mail:****-*****@****.****.jp			

※ ここから下は自由に作成してください。(イラストや図表なども、適宜追加してください)

1 アイデアの概要・要旨

電車やバスのつり革にスマートフォンなどを充電するための「USBポート」を取り付けることで、座席に座る乗客が減り、高齢者が座席に座りやすくなる。

2 アイデアの背景・思い立ったきっかけ(動機)

電車やバスに乗りながらスマートフォンを操作する人が増加しているが、操作に集中するあまり、目の前に足の不自由な人や高齢者、妊婦が立っていても、それに気付かない人も少なからずいる。(悪気がなくても)
そこで、優先座席だけでなく、高齢者の人たちが座席に座ることができるようなビジネスアイデアを考えた。

3 顧客(ターゲット)

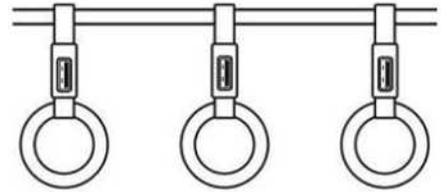
座席に座り集中して、スマートフォンを操作している人で、バッテリーの残量が気になる人

4 ビジネスの優位性・セールスポイント

- 充電ケーブルを伸ばして、座りながら充電することを防ぐために、つり革の一部に通電スイッチを付けて、つり革を握っていないと通電しないようにする。
- 駅や停留所に止まるときなど、ブレーキをかけた時に生じる回生エネルギーを利用して、エネルギーを無駄なく活用することができる。
- 電気を供給するための電気ケーブルは、つり革がぶら下がっている金属パイプの中を通し、つり革のUSBポートに接続できるので、車内の大規模な設備工事は必要ない。

5 市場ニーズと市場規模

- 2022年7月現在、調べたところ、このようなつり革を導入している電車はや電鉄会社はない。
- 従って、いち早くこのシステムを導入することで「生活弱者に優しい」「エネルギーを有効活用するエコな企業」「スマートフォンが充電できる便利でお得な電車」などの良いイメージにつながる。
- 以上のことから、このシステムは、費用対効果の面からも企業にとって導入する価値がある。国内だけでも約50,000台あるとされる車両に導入されれば大きな市場となり、また、海外に市場を求めることでさらに大きな市場規模となる。



・レイアウトなどは自由です。上記の項目は参考例です。
 ・このエントリーシートは1枚に収めてください(両面印刷可)。フォントサイズなども規定はありません。
 一次審査では、このエントリーシートをカラー印刷したもので行います。



第36回全国産業教育フェア佐賀大会

さいふフェア SAGA 2026

「全国高校生クッキングコンテスト」募集要項

1 趣旨

全国の高校生がこれまでに学習した知識と技術をいかし、「おもてなしランチ」を創作する機会を設ける。佐賀大会では、日本を代表する最高級ブランドの佐賀県産「海苔」と参加者の郷土の特産物をいかしたランチを創作する。このコンテストを通して、食文化の継承と新たな食の発展へ向け、食に対する関心を高めるとともに、創造性を養い、調理技術の向上及び健全な食生活を実践する力を育むことを目的とする。

2 日程

令和8年10月24日(土) 13:00~15:30 (食材搬入、会場下見、準備等)

令和8年10月25日(日) 9:00~14:30 (開会式、コンテスト、閉会式)

3 会場

学校法人 旭学園 佐賀女子短期大学付属 佐賀女子高等学校 調理実習室1

〒840-0027 佐賀県佐賀市本庄町本庄1263 TEL:0952-24-5341

4 内容等

別紙「全国高校生クッキングコンテスト実施規則」による。

テーマ

「おもてなしランチ ～新しい時代につなぐ食のバトン～」

テーマ食材

佐賀県産「海苔」、および各郷土の特産物1品以上

5 表彰

金賞 1チーム 銀賞 1チーム 銅賞 1チーム 特別賞 3チーム

6 交通費及び宿泊費

出場者及び引率者の交通費及び宿泊費等については、事務局は負担しない。なお、宿泊希望者については、後日大会 Web サイトに掲載する「宿泊要項」により宿泊先を斡旋する。

7 申込方法

(1) 各都道府県教育委員会・政令指定都市教育委員会は、本事項に基づき、参加申込書(様式8-1)及びエントリーシート(様式8-2)に必要事項を記入の上、令和8年7月21日(火)から8月7日(金)までに下記の入力フォームから申し込むこと(添付ファイル容量は10MB 以内)。申込み手続き後、1週間を経過し

ても受付完了メールが送信されない場合は、「受付・問合せ担当校」に確認すること。

(2) 応募作品について

ア エントリーシート(様式8-2)には、完成した作品の写真を貼付すること。

イ 応募作品(書類)は、原則として返却しない。

ウ 第2次審査の詳細は、第1次審査通過校に「受付・問合せ担当校」から連絡する。

(3) 審査に関する質問は、「受付・問合せ担当校」へ直接メールで問い合わせる。

(4) 応募作品の取扱い

応募作品の知的財産権は応募者に帰属するが、その展示・公開および出版等は、主催者が自由に行えるものとする。

(5) 提出書類の作成にあたっては、参加生徒の氏名、肖像等の個人情報を大会要項等に掲載し公開することがあるので、本人の了解を得て作成すること。

(6) 入力フォーム

<https://logoform.jp/form/jbBd/1435004>



(7) 受付・問合せ担当校

学校名	所在地	担当者
佐賀県立 鹿島高等学校 [大手門学舎]	〒849-1311 佐賀県鹿島市大字高津原539 TEL:0954-63-3126 / FAX:0954-63-9007 E-mail:saga2026katei@education.saga.jp	校長 北村 昭彦 担当者 高田 陽子

8 実行委員会事務局

第36回全国産業教育フェア佐賀大会実行委員会事務局本部

(佐賀県教育委員会事務局学校教育課内)

〒840-8570 佐賀県佐賀市城内一丁目1番59号

TEL 0952-25-7228 / FAX 0952-25-7286

大会HP <https://sanfair-saga2026.jp/>



第36回全国産業教育フェア佐賀大会

さいごふ SAGA 2026

「全国高校生クッキングコンテスト」実施規則

1 実施方法

- (1) 書類による第1次審査と会場での実技調理・試食及び作品紹介による第2次審査で行う。
- (2) 応募対象は全国の高校生とする。(専門学科に限らない)
- (3) 1チーム同一校2人とする。

2 会場

学校法人 旭学園 佐賀女子短期大学付属 佐賀女子高等学校 調理実習室1
〒840-0027 佐賀県佐賀市本庄町本庄1263 TEL:0952-24-5341

3 実施日程

項目	期間	備考
応募期間	令和8年7月21日(火) ～8月7日(金)	入力フォームへのデータ添付による応募とする。
第1次審査	令和8年8月25日(火)	書類による審査とする。 審査結果は書類で通知する。
第1次審査結果発表	令和8年9月初旬発表	第2次審査対象チームと連絡をとり、実施条件等の打ち合わせを行う。
前日打ち合わせ等	令和8年10月24日(土)	食材搬入、会場下見、リハーサル等を行う。
第2次審査 第2次審査結果発表	令和8年10月25日(日)	調理準備、リハーサル等を行う。 会場で実技調理・試食等による審査を行う。 審査後、結果発表および表彰を行う。

※第2次審査

項目	場所	内容
開会式	さつきホール	出場者の紹介等を行う。
競技	調理	調理実習室1 50分以内に実技調理および盛り付けを行う。
	プレゼンテーション	さつきホール ・学校紹介・自己紹介を行う。 ・作品紹介を行う(※審査対象)
審査	ラウンジ	審査員による調理状況の観察及び試食、作品紹介によって評価を行う。
閉会式	さつきホール	表彰(金賞・銀賞・銅賞)を行う。

4 実施条件

- (1) コンテストの趣旨やテーマ「おもてなしランチ ～新しい時代につなぐ食のバトン～」に則すること。
 - (2) 料理を供する対象者を各チームで設定し、対象者に適した料理を工夫すること。
 - (3) 規定材料として、佐賀県産「海苔」及び参加者の地域の「郷土の特産物」を1品以上使用すること。
- ※(1)～(3)に関する内容については様式8-2のアピールポイントに記述すること。

- (4) 材料費は1食分 800 円以内であること。(佐賀県産「海苔(焼き海苔)」は提供するため、材料代から除く)
- (5) 提供する焼き海苔以外の海苔を使用する場合は、各チームで準備すること。
- (6) 50 分以内に3食分の調理・盛り付けができること。
 - ア 調理器具・食器・材料の準備、調味料の計量、白米の炊飯などの事前準備は制限時間外とする。
 - イ 出汁・スープストック・湯をとる、乾物を戻すことは事前準備として行うことができる。
 - ウ 調理操作(材料を洗う、切る、皮むきや加熱)は制限時間内とする。
 - エ 器具の片づけ及び洗い物は制限時間外とする。(補助員を各チーム1名配置する)
 - オ 調理・盛り付け時間の延長は認めない。
- (7) 3食のうち、2食は審査用として提出し、1食は会場展示用とすること。
- (8) 肉の加工品、魚介練り製品は使用できる。
- (9) 缶詰類(水煮・シロップ漬け)、冷凍食品は素材として使用できる。
- (10)調理済み・半調理済み食品は使用しないこと。

5 学校紹介・作品紹介について(第2次審査対象チームのみ)

学校紹介・自己紹介を1分以内で行う。続けて作品紹介を2分以内で、口頭で行う。(作品紹介のみを審査対象とする)

6 必要器具等の内容について(第2次審査対象チームのみ)

- (1) 第2次審査対象チームに、必要となる食材・調理器具・食器等の事前調査をする。会場で用意できるもののリストは後日提示するが、それ以外は各チームで用意すること。
- (2) 調味料は基本的なものは用意するが、特殊なものは各チームで用意すること。
- (3) 使用材料、使用器具等は前日の食材搬入・会場下見の際に確認する。
- (4) 材料等はすぐ使えるように、開会式までの間に準備する。

7 審査方法

- (1) 第1次審査
全応募作品の中から、審査基準に基づき書類審査を行い、上位6チームを選出する。
- (2) 第2次審査
会場で実技調理・試食および作品紹介を審査基準に基づき審査し、入賞者を決定する。
- (3) 審査基準は次のとおりとする。

項目	内容
アイデア オリジナリティ	テーマに則しており、料理としての創意工夫がみられるか。
地域性	各都道府県の郷土の特産物、郷土の良さが十分に生かされているか。
おいしさ	味、彩り、食材の組み合わせ、見た目がよいか。
栄養	設定した喫食対象者に即した料理内容であり、栄養バランスが考えられているか。
作業態度	効率よく作業ができ、制限時間内に完成されているか。
衛生・安全	調理作業が衛生的かつ安全であるか。
作品紹介 (プレゼンテーション)	コンテストの趣旨に基づいた内容が紹介されているか。

※ 整理番号	
--------	--



「全国高校生クッキングコンテスト」参加申込書

地区名	北海道 東北 関東 東海 北信越 近畿 中国 四国 九州 (○で囲む)	都道府県名		
ふりがな				
学校名	立	高等学校		
所在地	〒			
	TEL	FAX		
担当者	ふりがな			
	氏名			
	E-mail			
	学科	学年	性別	生徒名 (ふりがな)
1				()
				()
2				()
				()
3				()
				()
4				()
				()

- ※ 整理番号の欄は、何も記入しないでください。
- ※ 応募校は、応募する全ての生徒名を記入してください。
- ※ 様式8-1及び様式8-2を併せて、令和8年7月21日(火)から8月7日(金)までの間に大会HPの【全国高校生クッキングコンテスト】の入力フォームへ添付してください。

※ 整理番号	
--------	--

第36回全国産業教育フェア佐賀大会


「全国高校生クッキングコンテスト」エントリーシート

ふりがな				
学校名	立			高等学校
学科・学年	科	年	科	年
ふりがな 生徒名				
作品の タイトル			対象者	
献立				
完成写真	※完成時の写真内容は実施当日の調理内容と相違のないように注意してください			
規定材料	海苔使用量	1人あたり重量()g		※参考:板海苔1枚2gとする
	各都道府県の 特産物			
アピール ポイント				
費用 (1食分)	円			



第36回全国産業教育フェア佐賀大会

さしフェア SAGA 2026

「第13回全国高校生介護技術コンテスト」募集要項

1 趣旨

福祉を学ぶ高校生が、日頃の学習活動で身につけた支援技術及びその根拠を発表し、相互に学びを共有することにより、適切かつ安全に支援できる能力と態度を育成することを目的とする。

2 日時

令和8年10月24日(土) 14:00 ~ 16:00 開会式、事前説明会
令和8年10月25日(日) 9:30 ~ 15:30 コンテスト、閉会式

3 会場

SAGAアリーナ サブアリーナ 1階 北
〒849-0923 佐賀県佐賀市日の出2丁目1-10

4 出場資格

福祉を学ぶ高校生で、各ブロックの代表生徒とする。

5 内容

利用者の尊厳を確保し、心身の状態に応じた支援技術を競う。
「第13回全国高校生介護技術コンテスト実施規則」による。

6 交通費及び宿泊費

出場者及び引率者の交通費、宿泊費等については、自己負担とする。
なお、宿泊希望者については、後日大会HPに掲載する「宿泊要項」により宿泊先を斡旋する。

7 申し込み方法

- (1) 各地区審査を通過した学校は、各都道府県教育委員会・政令指定都市教育委員会を通じ、「参加申込書(様式9)」に必要事項を記入し、令和8年8月18日(火)から9月7日(月)の期間中に下記入力フォームより申し込むこと。
- (2) 申込書(様式9)は大会HPからダウンロードし使用すること。
- (3) 出場校は令和8年9月下旬に発表する。
- (4) 参加生徒の名前、肖像等の個人情報を大会要項等に掲載し公開することがあるので、提出書類の作成に当たっては、本人の了解を得て作成すること。
- (5) 質問・問い合わせは、令和8年9月24日(木)までに行う。参加校から「受付・問合せ担当校」へ電子メールにより行うこと。回答は、大会HPに10月上旬までに掲載する。
- (6) 入力フォーム
<https://logofarm.jp/form/jbBd/1435009>



(7) 受付・問合せ担当校

学校名	所在地	担当者
佐賀県立 神埼清明高等学校	〒842-0012 佐賀県神埼市神埼町横武2 TEL:0952-52-3191 / FAX:0952-51-1017 E-mail:saga2026fukushi@education.saga.jp	校 長 中西 美香 担当者 原 慶介

8 実行委員会事務局

第36回全国産業教育フェア佐賀大会実行委員会事務局本部
(佐賀県教育委員会事務局学校教育課内)
〒840-8570 佐賀県佐賀市城内一丁目1番59号
TEL 0952-25-7228 FAX 0952-25-7286
大会HP <https://sanfair-saga2026.jp/>

第 36 回 全国 産業 教育 フェア 佐賀 大会



さしフェア SAGA 2026

「第 13 回全国高校生介護技術コンテスト」実施規則

1 実施方法

- (1) 競技内容 課題に対する介護技術及びエビデンスを競う。
- (2) 競技時間 介護技術 7分 エビデンス 2分
- (3) 課題 ※課題の状況設定の詳細は、9月下旬に出場校に連絡する。
- (4) 出場資格 全国の高等学校で福祉を学ぶ生徒
各地区代表校 1校（九州地区は 2校）
前回優勝校地区 1校、開催県 1校 計 12校
- (5) 選手 1チーム同一校 選手 3名
(介護技術は選手 2名、エビデンスは選手 3名で行う)

2 審査方法

- (1) 審査対象 課題に対する介護技術とエビデンスを総合的に審査する。
- (2) 審査員 高等学校の福祉教育に理解の深い者をもって充てる。
- (3) 審査 別途作成する評価票に基づいて行い、評価票は公表する。

3 表彰

最優秀賞 1校 優秀賞 2校 奨励賞 9校
特別賞（厚生労働大臣賞 1校 日本介護福祉士会会長賞 1校）

4 競技上の注意

- (1) 選手の服装は、各学校指定の実習服等と介護用シューズとする。
- (2) 介護技術は、会場に準備された物品のみを用いて行うこととし、その他の物品を会場へ持ち込み介護技術に使用することはできない。
- (3) 競技中は選手に対して指導助言を与えてはならない。
- (4) 競技中の選手の交代はできない。また、審査員の許可なく会場を離れた場合は、失格とする。
- (5) 競技順は令和 8 年 10 月 24 日（土）に抽選にて行い決定する。
- (6) 審査員は開催県が選出する。
- (7) 大会規定違反への対応
参加者が大会規程に違反する行為を行ったと確認された場合、実行委員会は警告・失格・表彰取消などの処分をすることがある。処分決定後の異議申し立ては原則として受け付けない。

5 日程

- (1) 令和 8 年 10 月 24 日（土） 14：00～16：00 開会式、事前説明会
- (2) 令和 8 年 10 月 25 日（日） 9：30～15：30 コンテスト、閉会式



第36回全国産業教育フェア佐賀大会

さんこうフェア SAGA 2026

「第13回全国高校生介護技術コンテスト」参加申込書

令和8年 月 日

地区名	北海道 東北 関東 東海 北信越 近畿 中国 四国 九州 (○で囲む)		都道府県名	
ふりがな 学校名	立 高等学校			
所在地	〒			
T E L				
F A X				
E-mail				
担当者	職名		ふりがな	
			名前	
	E-mail			
生徒名	学科・コース	学年	ふりがな	
			名前	

※ 整理番号欄には何も記入しないでください。

※ 様式9を、令和8年8月18日(火)から9月7日(月)の期間中に、各都道府県教育委員会・政令指定都市教育委員会に取りまとめて、大会HP【介護技術コンテスト】の入力フォームへ添付してください。